CITIZEN

CITIZEN バーコードラベルプリンタ
Windows ドライバガイド

Ver. 12.8.0 用

シチズン・システムズ株式会社

更新履歴

年月日	レビジョン	履歴
2009/07/15	1.00	新規
2010/11/08	1.01	CL-S520, 620,630 リリースに伴い各章に説明を追加 Windows7 対応に伴い各章に説明を追加 ステータスモニタリング機能の説明およびサンプルプログラムを追加
2011/06/21	1.02	CL-S400DT リリースに伴い各章に説明を追加
2011/06/29	1.03	CL-S530 リリースに伴い各章に説明を追加
2012/10/01	7.3.1M-1	対応オペレーティングシステムに Windows8 及び Windows Server2012 を追加
2013/06/27	7.3.3M-0	海外モデル CL-S3xx シリーズ追加（日本国内非対応）
2015/11/17	7.4M-1	Windows10 対応および CL-E720/730 リリースに伴い各章に説明を追加
2017/09/06	7.4.3M-2	Windows セキュリティ更新プログラム(M16-087)に対応 CL-E300/303 リリースに伴い各章に説明を追加
2019/07/18	2019.1M-1	CL-E321/331 リリースに伴い各章に説明を追加
2020/06/15	2020.1M-0	CL-E3xxEX および CL-S7xxII リリースに伴い各章に説明を追加
2021/11/25	2021.3M-1	Windows11 対応に伴い説明を追加 センサー調整機能追加に伴い説明を追加
2022/01/24	2021.3M-3	ドライバのバージョンアップに伴い本書のレビジョンを更新
2023/12/27	2023.3M-1	CL-S700III/S703III リリースに伴い各章に説明を追加
2026/2/19	11.11.0	CL-S400DTII リリースに伴い各章に説明を追加
2026/10/29	12.8.0	CL-S403DTII リリースに伴い各章に説明を追加

目次

１．動作環境 5
１－１．対象オペレーティングシステム 5
１－２．対象モデル 5
１－３．対象インターフェース 6
２．インストールとアンインストール 6
２－１．インストール 6
２－２．アンインストール 13
３．プロパティの表示 16
３－１．プロパティ表示 16
４．印刷の設定 17
４－１．印刷設定プロパティ 17
用紙プロパティ 18
グラフィックプロパティ 21
ラベル用紙プロパティ 23
オプションプロパティ 25
情報プロパティ 27
５．フォントの設定 29
５－１．フォントプロパティ 29
フォントのダウンロード 29
新規ユーザー定義オプションフォント 33
新規フォント変換 36
新規バーコードフォント 37
５－２．表示 39
５－３．ツール 40
ダウンロードしたフォントの再送信 40
インストール済み機能 40
フォントオプション 41
ドライバオプション 41
６．ドライバツール 42
６－１．ツールプロパティ 42
プリンタ 42
ドライバ 44
７．アプリケーションからの印刷 50
７－１．プリンタフォントリスト 50
７－２．プリンタバーコードフォントリスト 52
７－３．Microsoft Word からの印刷 53

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
2. 本書の内容については、事前の予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 上記に同意いただけない場合は、本ドライバをご使用いただけません。

商標

Microsoft, Windows 7, Windows8, Windows8.1, Windows10, Windows11, Windows Server 2008 R2, Windows Server2012, Windows Server2012 R2, Windows Server 2016, Windows Server 2019, Windows Server 2022 は、米国 Microsoft Corporation（あるいは米国マイクロソフト・コーポレーション）の米国およびその他の国における登録商標です。（Windows の正式名称は Microsoft Windows Operating System です）
その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

CITIZEN は、シチズン時計株式会社の登録商標です。

１．動作環境

１－１．対象オペレーティングシステム

本ドライバは、以下の Microsoft Windows オペレーティングシステムの 32 ビット(X86)および 64 ビット(x64)エディションに対応しています。

Desktop OS:

Windows 7, Windows8, Windows8.1, Windows10, Windows11

Server OS:

Windows Server 2008 R2, Windows Server2012 & 2012R2, Windows Server 2016, Windows Server 2019, Windows Server 2022

１－２．対象モデル

本ドライバの対象モデルは以下の通りです。各モデルの詳細につきましては、取扱説明書をご参照下さい。

モデル名	ドライバ名	解像度	印刷方式	メディアセンサー		オプション機能
CL-S400DT	Citizen CL-S400DTJ	203DPI	感熱	ギャップ マーク	アジャスタブル	オートカッター ピーラー
CL-S400DTII	Citizen CL-S400DTIIJ	203DPI	感熱	ギャップ マーク	アジャスタブル	オートカッター ピーラー
CL-S403DTII	Citizen CL-S403DTIIJ	300DPI	感熱	ギャップ マーク	アジャスタブル	オートカッター ピーラー
CL-S520	Citizen CL-S520	203DPI	感熱	ギャップ マーク	アジャスタブル	オートカッター ピーラー
CL-S520II	Citizen CL-S520II	203DPI	感熱	ギャップ マーク	アジャスタブル	オートカッター ピーラー
CL-S530	Citizen CL-S530	300DPI	感熱	ギャップ マーク	アジャスタブル	オートカッター ピーラー
CL-S530II	Citizen CL-S530II	300DPI	感熱	ギャップ マーク	アジャスタブル	オートカッター ピーラー
CL-S620	Citizen CL-S620	203DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	アジャスタブル	オートカッター ピーラー
CL-S620II	Citizen CL-S620II	203DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	アジャスタブル	オートカッター ピーラー
CL-S630	Citizen CL-S630	300DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	アジャスタブル	オートカッター ピーラー
CL-S630II	Citizen CL-S630II	300DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	アジャスタブル	オートカッター ピーラー
CL-S700	Citizen CL-S700J	203DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	前方(固定) 後方(アジャスタブル)	オートカッター ピーラー
CL-S700II	Citizen CL-S700IIJ	203DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	前方(固定) 後方(アジャスタブル)	オートカッター ピーラー
CL-S700III	Citizen CL-S700IIIJ	203DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	前方(固定) 後方(アジャスタブル)	オートカッター ピーラー
CL-S703	Citizen CL-S703J	300DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	前方(固定) 後方(アジャスタブル)	オートカッター ピーラー
CL-S703II	Citizen CL-S703IIJ	300DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	前方(固定) 後方(アジャスタブル)	オートカッター ピーラー
CL-S703III	Citizen CL-S703IIIJ	300DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	前方(固定) 後方(アジャスタブル)	オートカッター ピーラー
CL-E300 シリーズ	Citizen CL-E300J	203DPI	感熱	ギャップ マーク	アジャスタブル	オートカッター ピーラー
CL-E303 シリーズ	Citizen CL-E303J	300DPI	感熱	ギャップ マーク	アジャスタブル	オートカッター ピーラー
CL-E321 シリーズ	Citizen CL-E321J	203DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	アジャスタブル	オートカッター ピーラー
CL-E331 シリーズ	Citizen CL-E331J	203DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	アジャスタブル	オートカッター ピーラー
CL-E720	Citizen CL-E720J	203DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	アジャスタブル	オートカッター ピーラー
CL-E730	Citizen CL-E730J	300DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	アジャスタブル	オートカッター ピーラー

１－３．対象インターフェース

本ドライバの対象インターフェースは以下の通りです。

- シリアル
- パラレル（双方向モード・片方向モード）
- USB（プリンタクラスモード・仮想 COM モード）
- ネットワーク（Ethernet・WiFi）

注意事項

■ シリアルインターフェース接続

シリアルインターフェース接続では、PC とプリンタとの間で通信条件が一致していることをご確認下さい。

■ パラレルインターフェース接続

プリンタのパラレルインターフェースモードのデフォルト設定は、IEEE1284 有効（双方向モード）となっています。
IEEE1284 無効（片方向モード）でご使用になる際は、プリンタのメニュー設定でのモード変更が必要です。
モードの変更方法につきましては、プリンタの取扱説明書をご参照下さい。

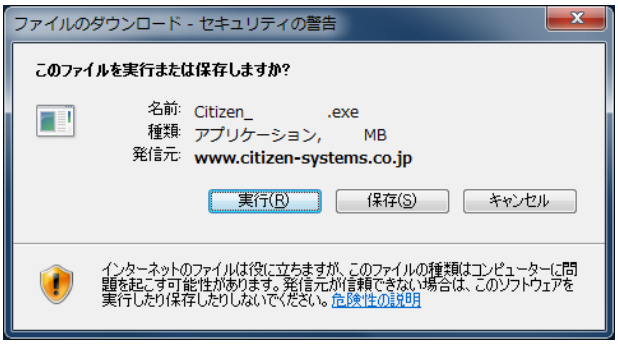
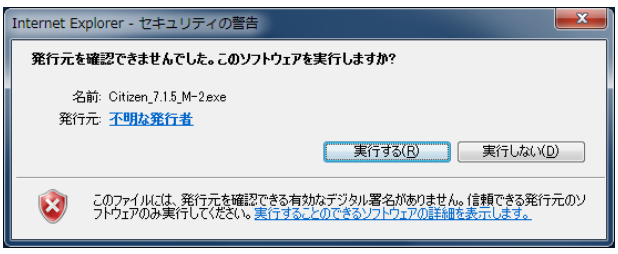
■ USB 仮想 COM 接続

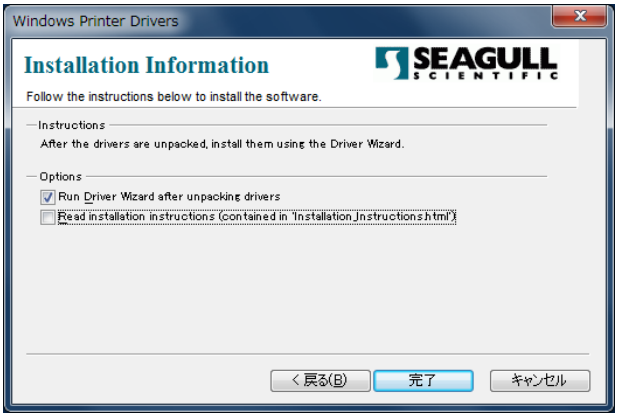
USB インターフェースを仮想 COM モードでご使用になる際は、本ドライバをインストールする前に、プリンタのメニュー設定でのモード変更と、USB 仮想 COM ドライバをインストールする必要があります。USB 仮想 COM モードの変更方法につきましては、プリンタの取扱説明書をご参照下さい。また、USB 仮想 COM ドライバのインストール方法につきましては、仮想 COM ドライバインストールガイドをご参照下さい。

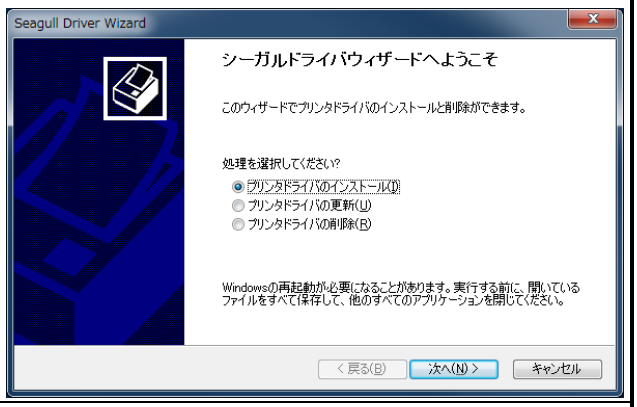
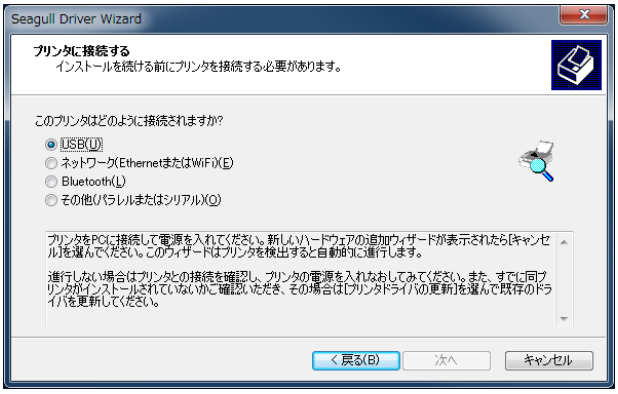
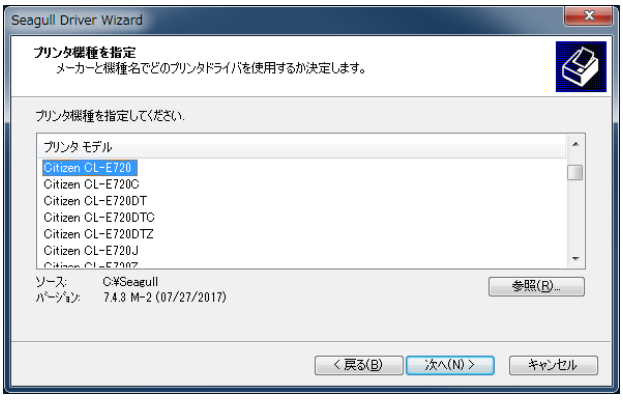
２．インストールとアンインストール

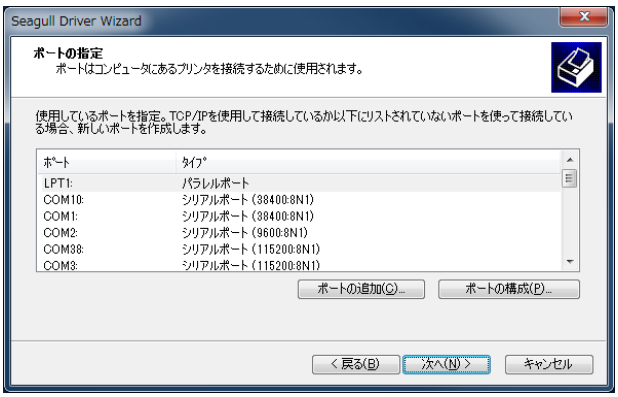
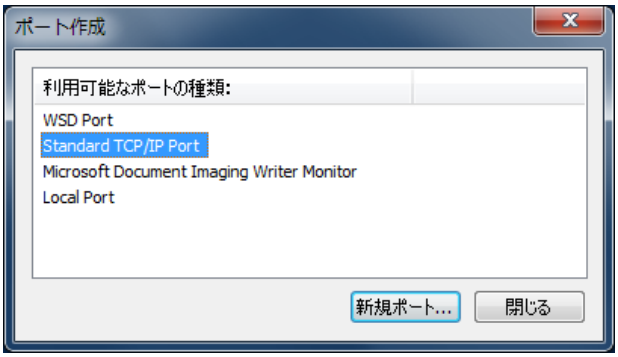
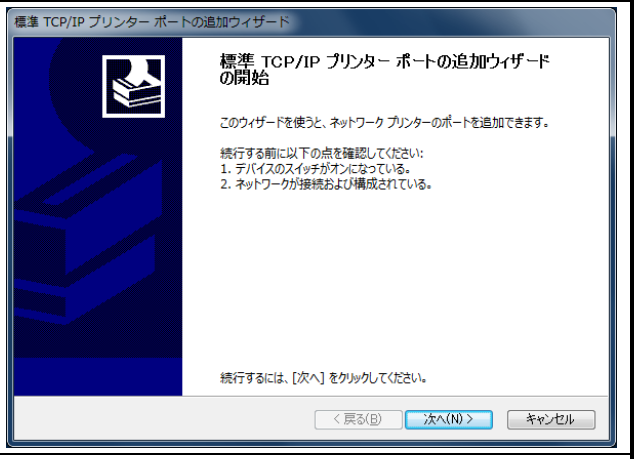
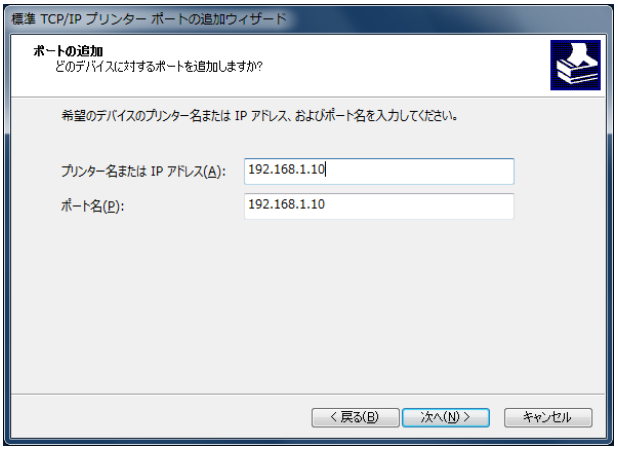
２－１．インストール

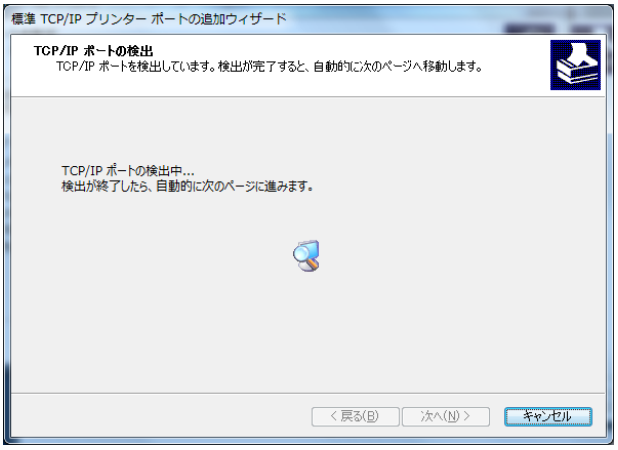
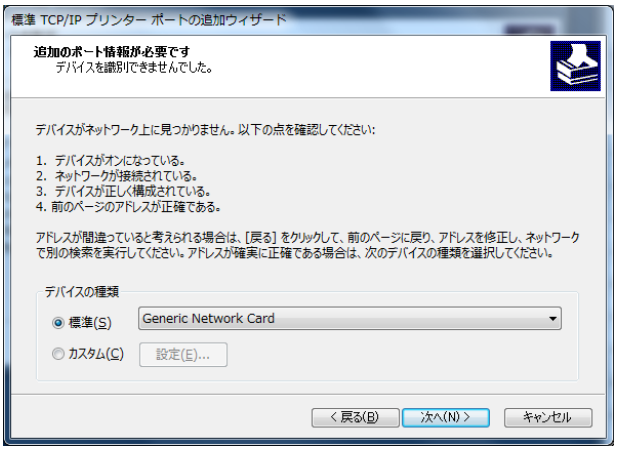
ここでの説明は Windows 7 を例に取りますが、他の Windows でも、ほぼ同じ方法となります。
尚、古いドライバがインストールされている環境では、事前にアンインストールを行う必要があります。

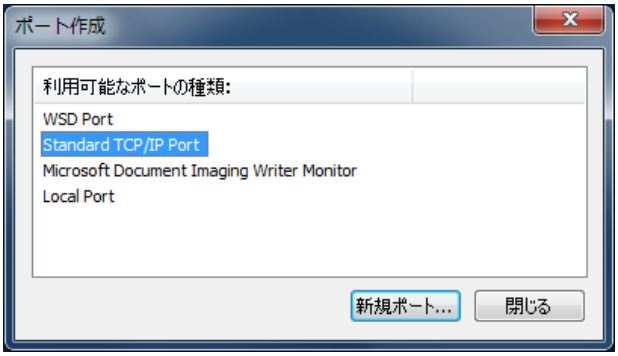
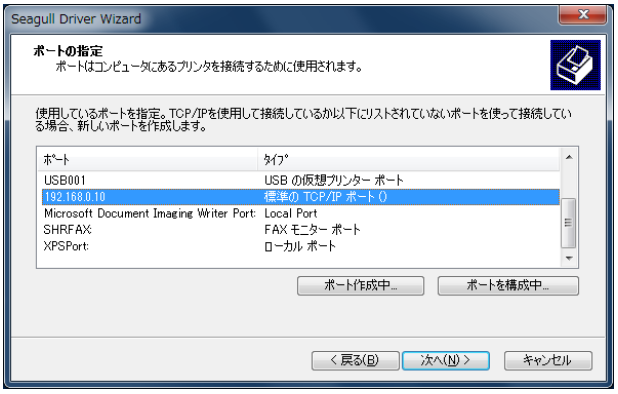
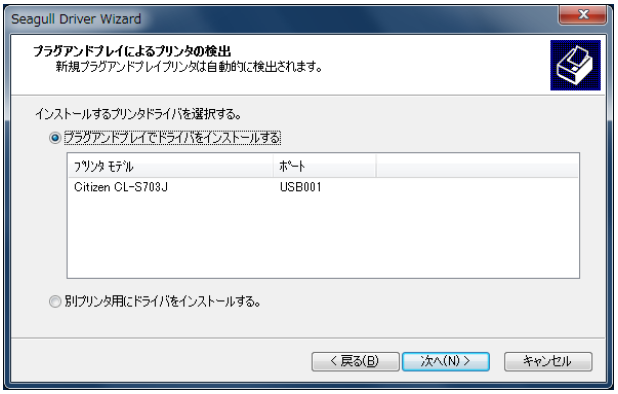
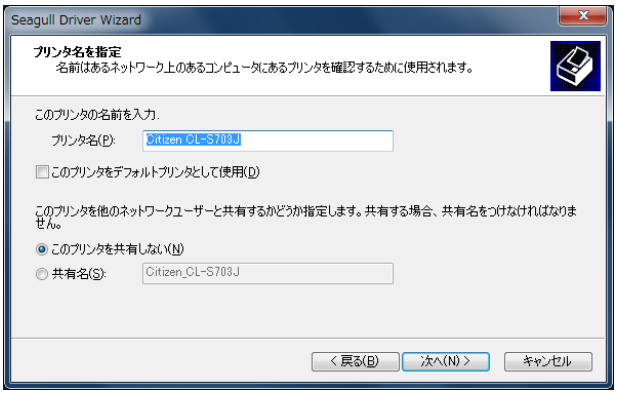
ドライバの解凍		
	手順	表示
1	シチズン・システムズのプリンタドライバのダウンロードサイトより、「バーコードプリンタ向け Windows ドライバ」をダウンロードします。 （自己解凍型圧縮ファイル） http://www.citizen-systems.co.jp/support/download/printer/label/index.html 「実行(R)」ボタンを押下します。	
2	次のウィンドが表示されたら、「実行する(R)」ボタンを押下します。	

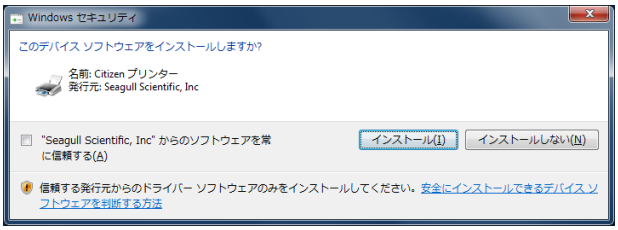
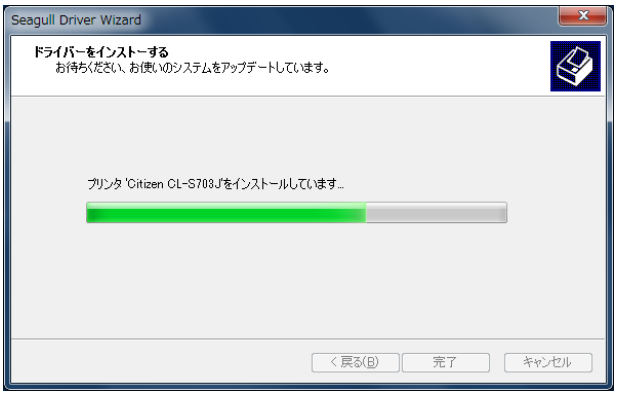
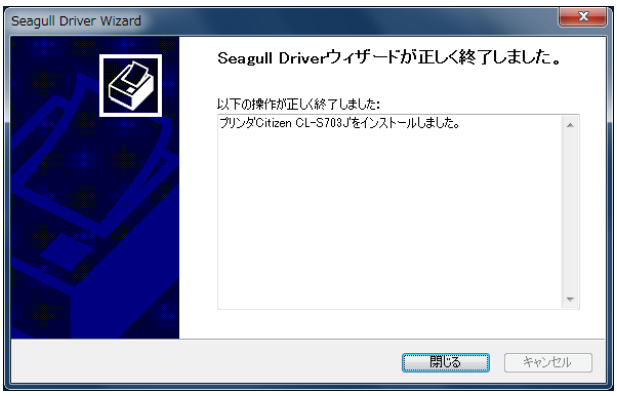
3	ドライバの使用許諾ウィンドが表示されます。 同意されたら、上側のラジオボタン「「I accept the terms in the license agreement」」を選択し、「次へ(N)」ボタンを押下します。 同意されない場合は、下側のラジオボタン「I do not accept the terms in the license agreement」を選択し、解凍作業を中断します。	
4	ドライバの解凍先フォルダを指定します。 「次へ(N)」ボタンを押下するとドライバの解凍が始まります。	
5	「Run Driver Wizard after unpacking driver」にチェックを入れます。 「Read installation instructions(...)」のチェックを外します。 「完了」ボタンを押下します。 これでドライバの解凍作業は終了です。 手順 6 より、ドライバのインストール作業に入ります。	

ドライバのインストール		
	手順	表示
6	「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」のメッセージダイアログが表示された場合は、「はい(Y)」を押下して下さい。 ドライバウィザードウィンドが表示されます。 「プリンタドライバのインストール」にチェックを入れ、「次へ(N)」ボタンを押下します。	 
7	プリンタを PC に接続しプリンタの電源を入れます。 「プリンタに接続する」ウィンドよりインターフェースを選択します。 **USB 接続** 手順 15 へ **ネットワーク、パラレル、シリアル接続** 「次へ(N)」ボタンを押下します。手順 8 へ	
8	**ネットワーク、パラレル、シリアル接続** プリンタモデルを選択し、「次へ(N)」ボタンを押下します。	

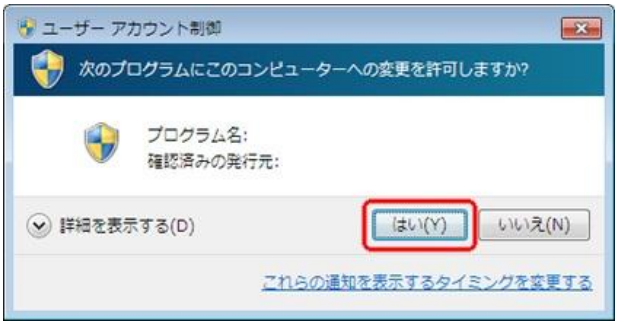
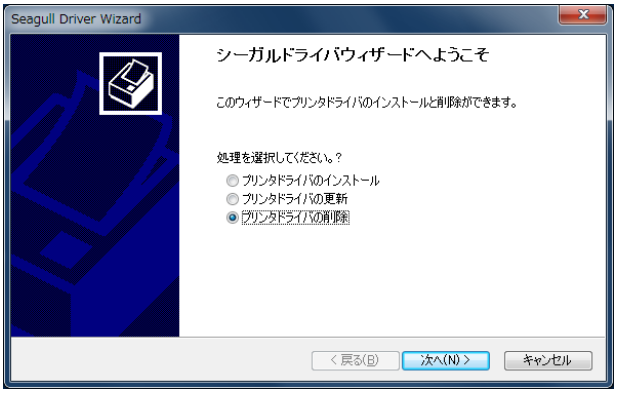
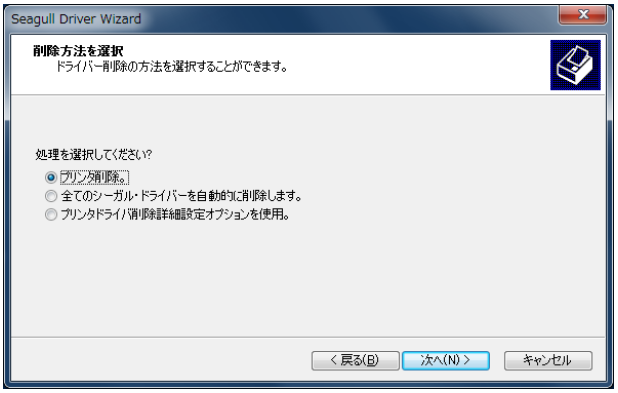
9	**シリアルポート接続** COM*:を選択します。 「次へ(N)」ボタンを押下します。 手順 16 へ **パラレルポート接続** LPT*:を選択します。 「次へ(N)」ボタンを押下します。 手順 16 へ **ネットワーク接続** 「ポートの追加(C)」のボタンを押下します。 手順 10 へ	
10	**ネットワーク接続** 「ポート作成」のウィンドが表示されます。 「Standard TCP/IP Port」を選択し、「新規ポート...」を押下します。	
11	**ネットワーク接続** 「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」のウィンドが表示されます。 「次へ(N)」ボタンを押下します。	
12	**ネットワーク接続** 「プリンタ名または IP アドレス(A):」にプリンタ名またはプリンタの IP アドレスを入力します。 「ポート名(P):」は、上記入力と同時に自動入力されます。 「次へ(N)」ボタンを押下します。	

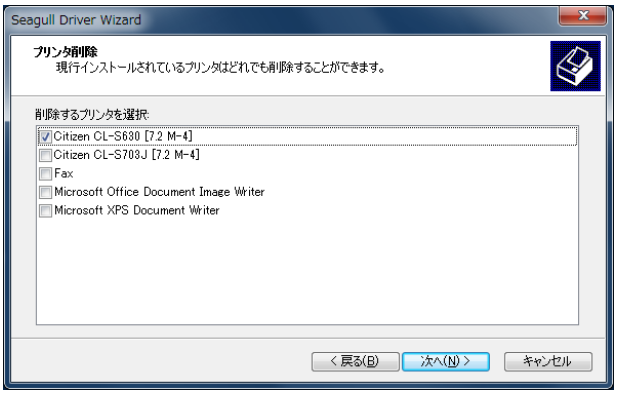
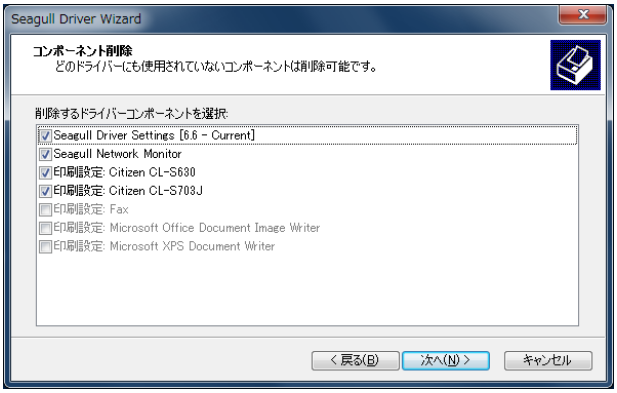
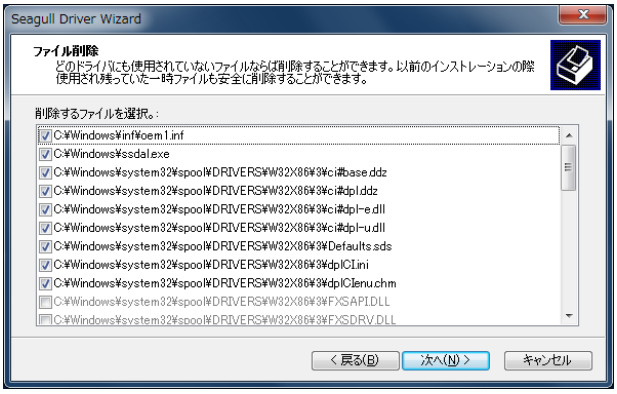
13	**ネットワーク接続** 「TCP/IP ポートの検出ウィンド」が表示されます。この検出処理が完了するまでに数分かかる場合があります。	
	プリンタの TCP/IP ポートが何らかの原因で検出されないと、「追加のポート情報が必要です」のウィンドが表示されます。 「デバイスの種類」の項目で、「標準」を選択し、「Generic Network Card」を選択します。 ※ポート設定が必要な場合は、「カスタム」を選択し、「設定(E)」ボタンを押下します。 「次へ(N)」ボタンを押下します。	
	プリンタの TCP/IP ポートが正しく検出されると、「標準 TCP/IP プリンターポートの追加ウィザードの完了」が表示されます。 「完了」ボタンを押下します。	

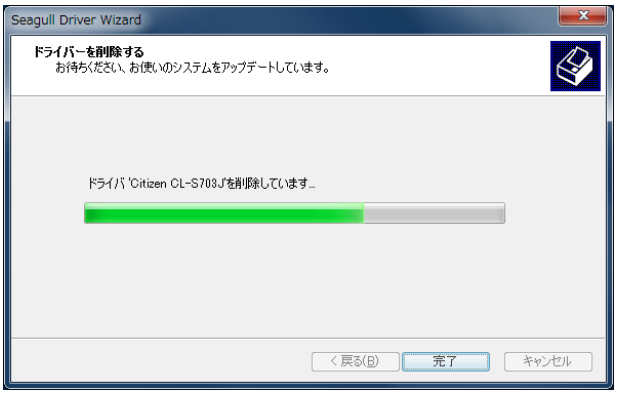
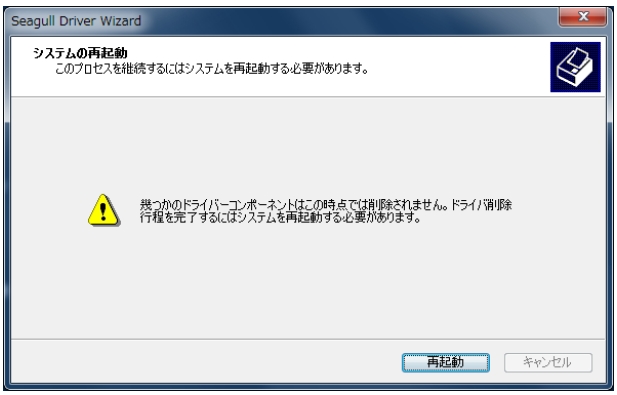
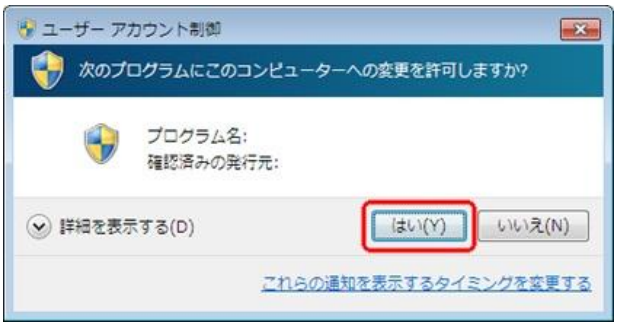
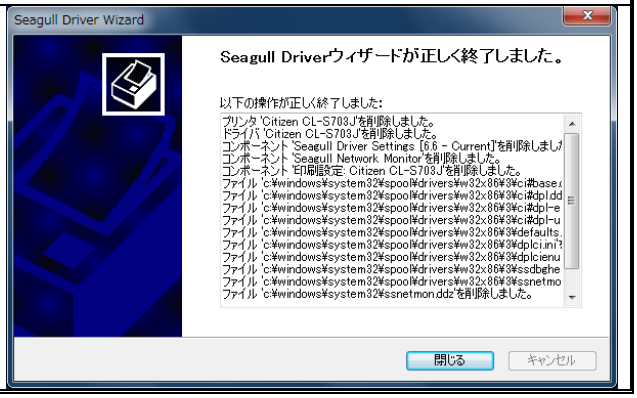
14	**ネットワーク接続** 「ポート作成」ウィンドに戻ります。 「閉じる」ボタン押下します。 すると、「ポートの指定」ウィンドに作成されたイーサネットポートが追加されます。 「次へ(N)」ボタンを押下し、手順 15 に進んで下さい。	 
15	**USB 接続** 「プラグアンドプレイによるプリンタの検出」のウィンドが表示されます。 パソコンに接続されたプリンタ名が表示されていることを確認し、「プラグアンドプレイでドライバをインストールする」にチェックを入れ、「次へ(N)」ボタンを押下します。 手順 16 へ	
16	**USB・ネットワーク・パラレル・シリアル接続** 次の作業を行い「次へ(N)」ボタンを押下します。 ①「プリンタ名(P)」にプリンタ名を入力します。 ②デフォルトプリンタとして使用する場合は、「このプリンタをデフォルトプリンタとして使用(D)」にチェックを入れます。 ③ネットワーク環境でこのプリンタを共有する場合は、「共有名(S)」を選択し、共有名を入力します。	

17	**USB・パラレル・シリアル・ネットワーク接続** ドライバウィザードの完了を示すウィンドが表示されます。 設定された項目を確認の上、「完了」ボタンを押下します。	
18	**USB・パラレル・シリアル・ネットワーク接続** 「このデバイスソフトウェアをインストールしますか？」のウィンドが表示されたら、「インストール(I)」を押下します。 ドライバのインストールが開始します。 進捗を示すウィンドが表示されます。	 
19	**USB・パラレル・シリアル・ネットワーク接続** インストールの完了を示すウィンドが表示されます。 「閉じる」ボタンを押下します。 これでインストール作業は終了です。	

２－２．アンインストール

ドライバのアンインストール		
	手順	表示
1	プリンタの電源が OFF、または未接続になっていることを確認し、ドライバを解凍したフォルダより、「DriverWizard.exe」を実行します。 「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」のメッセージダイアログが表示された場合は、「はい(Y)」を押下して下さい。	 
2	ドライバウィザードウィンドが表示されます。 「プリンタドライバの削除」にチェックを入れ、「次へ(N)」ボタンを押下します。	
3	**<u>プリンタを選択して削除する</u>** 「プリンタ削除。」を選択します。 ※登録されたプリンタが削除されるだけで、プリンタドライバそのものは削除されません。 「次へ(N)」ボタンを押下し、手順 4 に進んで下さい。 **<u>全てのプリンタドライバを削除する</u>** 「全てのシーガル・ドライバを自動的に削除します。」を選択します。 ※登録されたプリンタとプリンタドライバを完全に削除し、クリーンな状態にします。 ※印刷に関する設定が全て削除されますので、予め印刷設定のバックアップを行って頂くことを推奨します。 「次へ(N)」ボタンを押下し、手順 6 に進んで下さい。 **<u>プリンタドライバの削除方法を選択して削除する</u>** 「プリンタドライバ削除詳細設定オプションを使用」を選択します。 ※プリンタのみを削除するか、プリンタドライバそのものを削除するかを選択します。 「次へ(N)」ボタンを押下し、手順 4 に進んで下さい。	

4	**プリンタを選択して削除する** 削除したいプリンタを選択し、「次へ(N)」ボタンを押下します。 手順 6 に進んで下さい。 **プリンタドライバの削除方法を選択して削除する** 削除したいプリンタを選択し、「次へ(N)」ボタンを押下します。 手順 5 に進んで下さい。	
5	**プリンタドライバの削除方法を選択して削除する** 「ドライバ削除」ウィンドより、削除したいプリンタドライバを選択し、「次へ(N)」ボタンを押下します。 「コンポーネント削除」ウィンドより、削除したいコンポーネントを選択し、「次へ(N)」ボタンを押下します。 ※登録されたプリンタとプリンタドライバを完全に削除し、クリーンな状態にします。 ※印刷に関する設定が全て削除されますので、予め印刷設定のバックアップを行って頂くことを推奨します。 「ファイル削除」のウィンドより、削除したいファイルを選択し、「次へ(N)>」ボタンを押下します。 手順 6 に進んで下さい。	  

6	選択した項目の一覧が表示されます。 「完了」ボタンを押下してください。	
7	アンインストールの進捗を示すウィンドが表示されます。	
	「システムの再起動」のウィンドが表示された場合は、「再起動」ボタンを押下して下さい。	
	OS が再起動し、「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」のメッセージダイアログが再び表示された場合は、「はい(Y)」を押下して下さい。	
8	アンインストールが正しく終了すると、次のウィンドが表示されます。 「閉じる」ボタンを押下します。	
	これで、アンインストールの作業は終了です。	

３． プロパティの表示

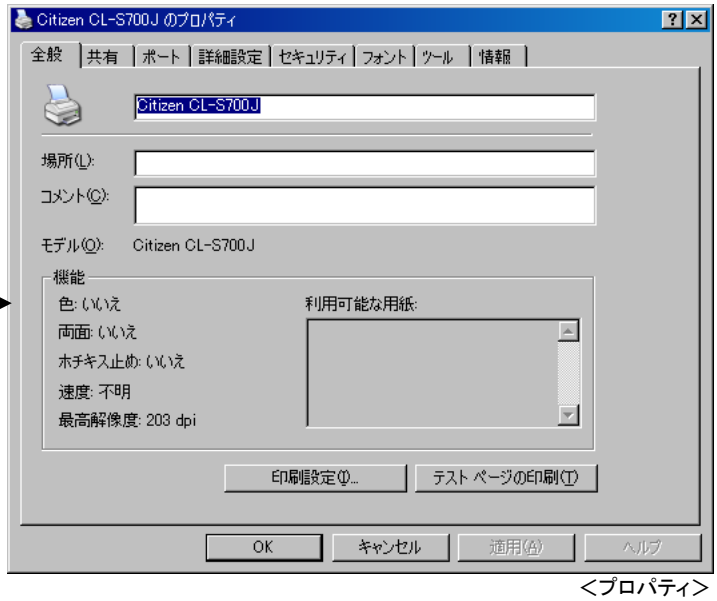
３－１． プロパティ表示

■ Windows XP

コントロールパネルより「プリンタと FAX」を開き、任意のプリンタの「プロパティ」ウィンドを表示させます。



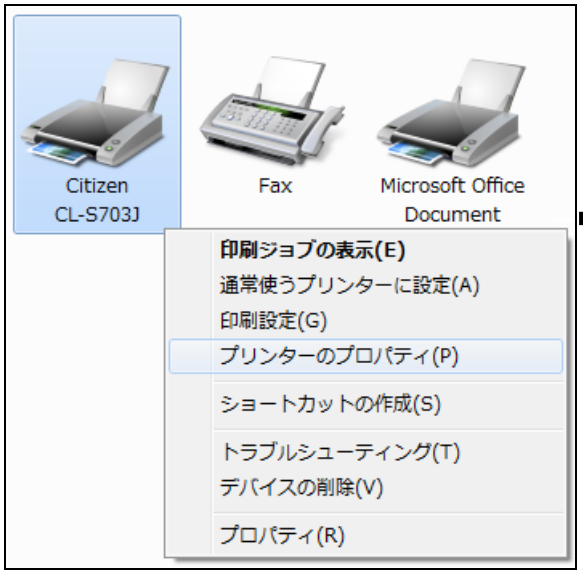
<プリンタと FAX>

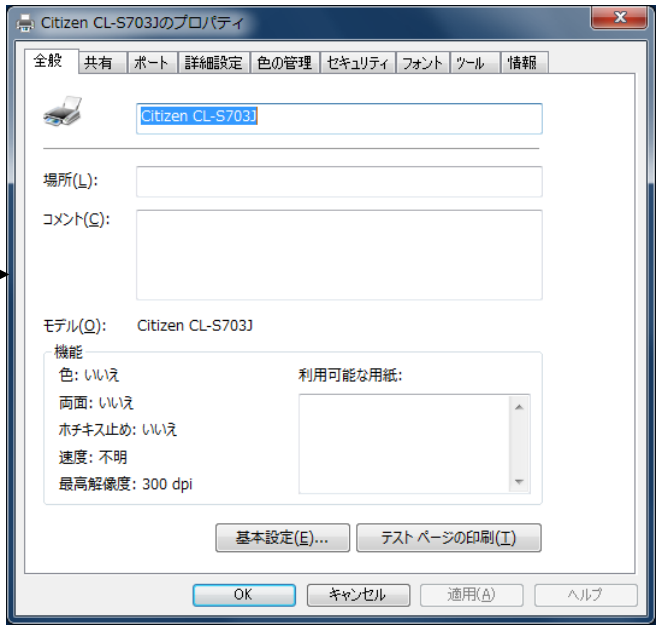


<プロパティ>

■Windows 7

コントロールパネルより「デバイスとプリンタ」を開き、任意のプリンタの「プリンタのプロパティ」ウィンドを表示させます。





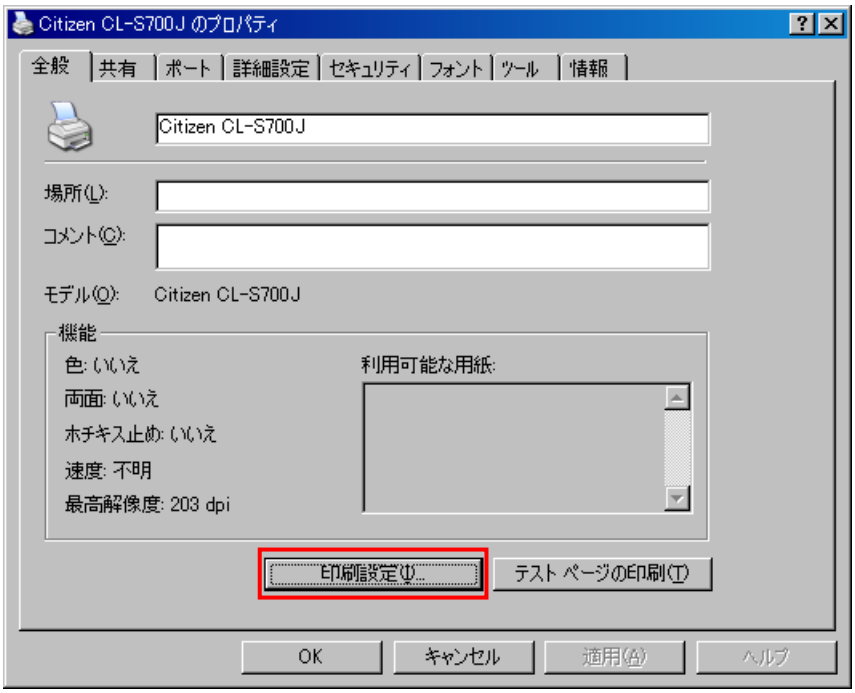
４． 印刷の設定

４－１． 印刷設定プロパティ

「全般」タブを選択し、赤枠のボタンを押下します。

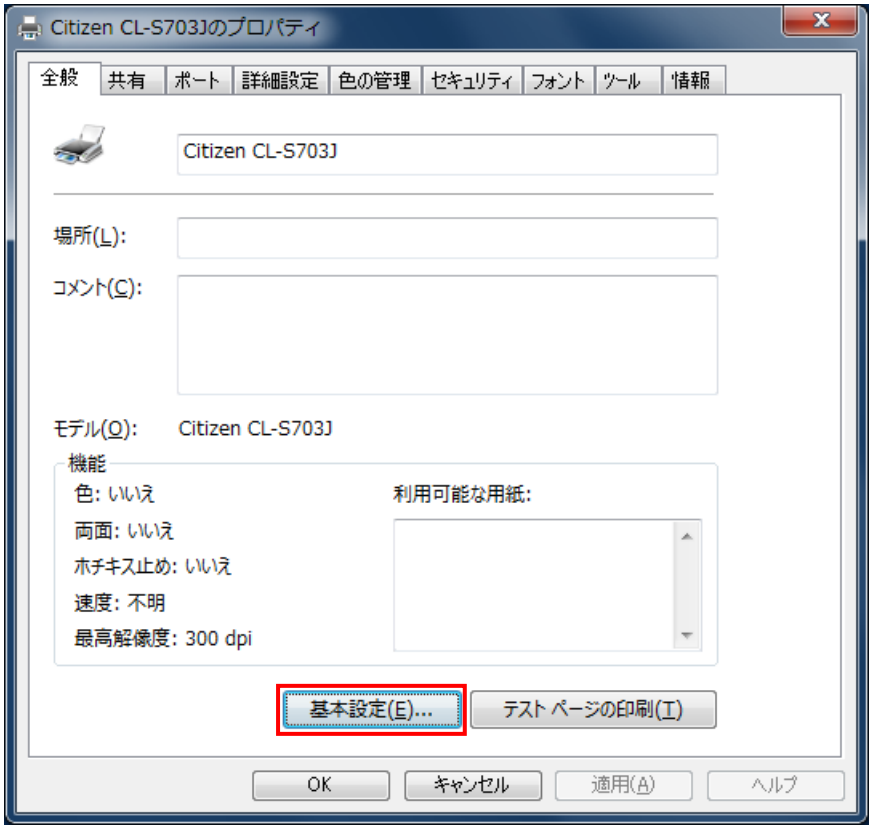
■ Windows XP

「印刷設定(I)」を押下します。



■ Windows 7

「基本設定(E)」を押下します。



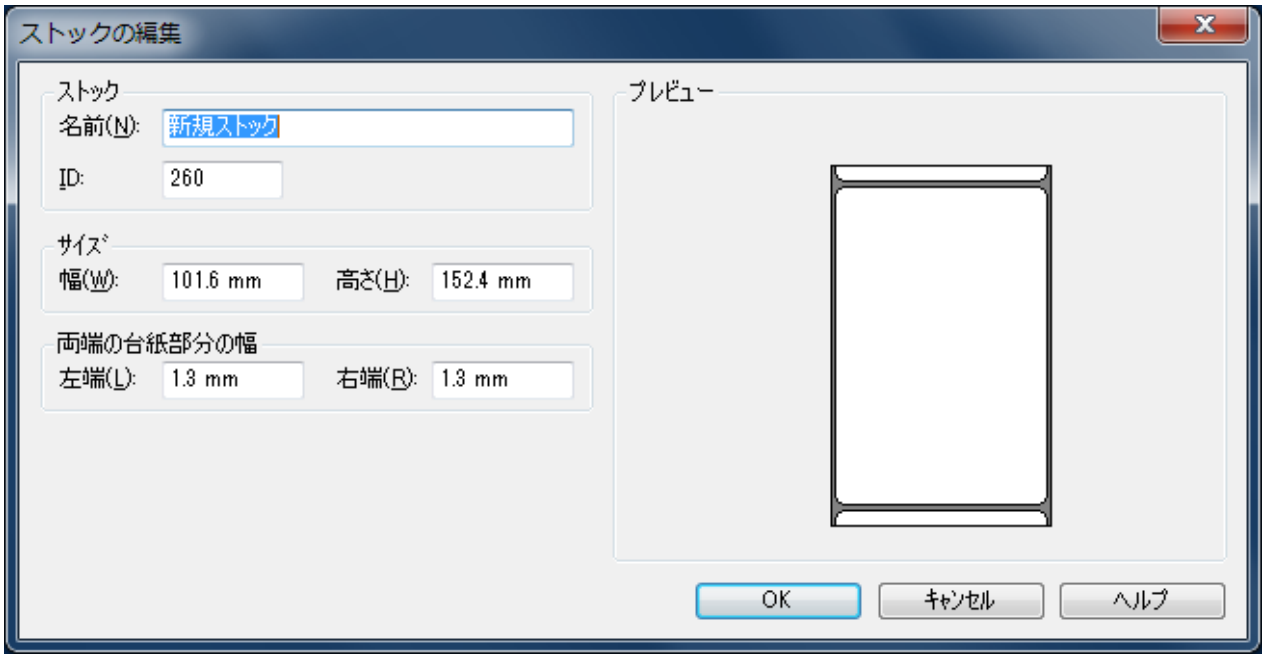
用紙プロパティ

用紙に関する設定を行なう為のプロパティです。設定を変更するには、「適用(A)」ボタンを押下します。



① ストック

ストック項目の[名前(N)]メニューのプルダウンを押下し、用紙サイズを指定します。
ストックに該当サイズが無い場合は、"USER"を選択の上、「編集(E)」ボタンを押下し、「ストックを編集」ウィンドより、「サイズ」および「両端の台紙部分幅」を変更するか、「新規(W)」ボタンを押下し、編集と同じ操作で新たなストックを追加して下さい。



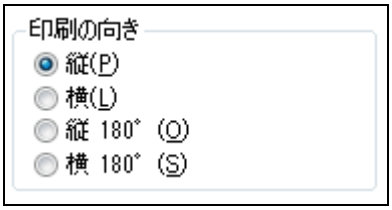
② プレビュー

「印刷の向き」および「効果」の設定に従いプレビューします。



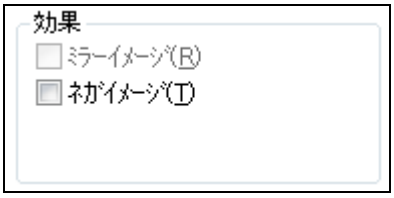
③ 印刷の向き

印刷の向きを指定します。



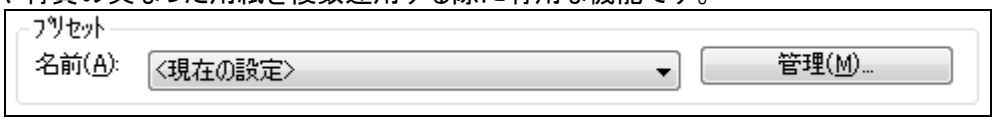
④ 効果

ネガポジ反転（白黒反転）で印刷を行なう場合は、「ネガイメージ(T)」にチェックを入れます。

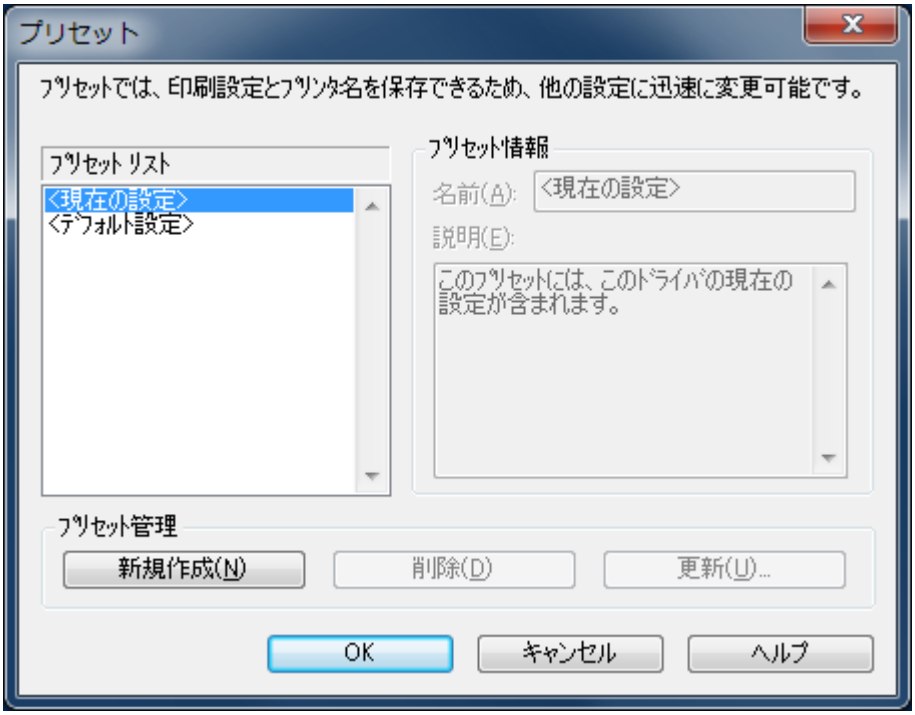


⑤ プリセット

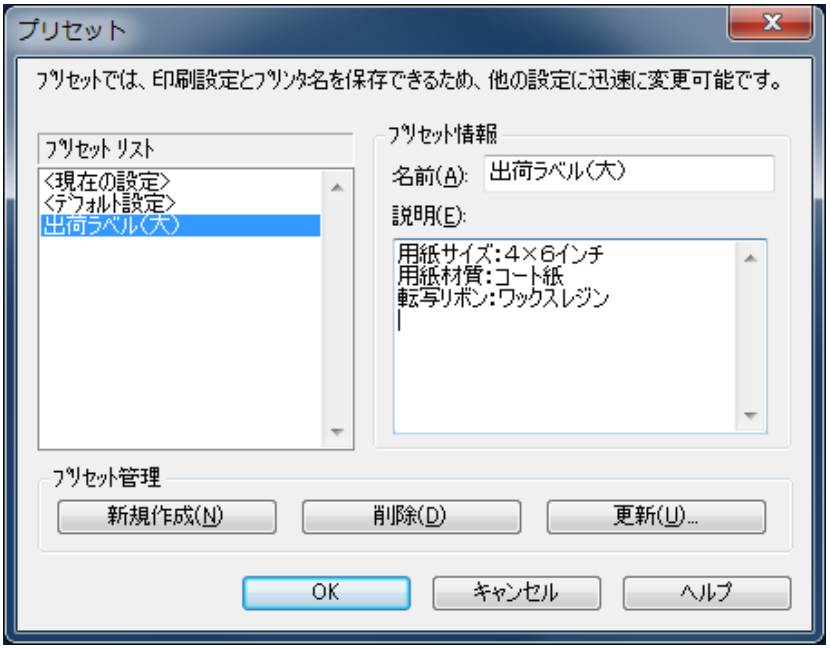
印刷設定プロパティ上（用紙、グラフィック、ラベル用紙、オプション）で設定された値をプリセットします。
サイズや材質の異なった用紙を複数運用する際に有用な機能です。



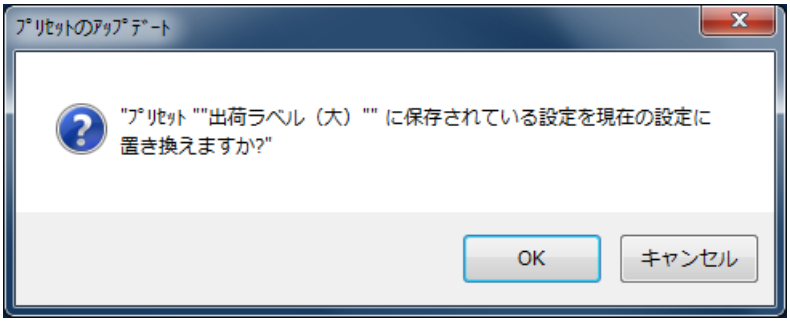
現在の印刷設定をプリセットするには、「管理(M)」ボタンを押下し、プリセットウィンドを表示させます。



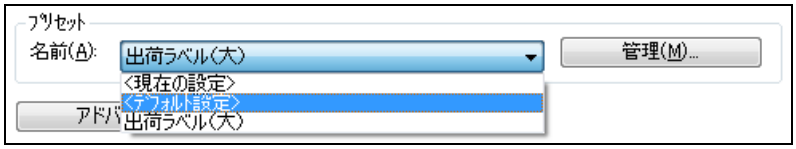
「新規作成(N)」ボタンを押下、次に「名前(A)」にプリセット名を入力、続いて「説明(E)」に覚え書き等を入力し、「更新(U)」ボタンを押下します。



「プリセットのアップデート」のダイアログが表示されます。「更新(U)」ボタンを押下すると、現在の印刷設定がプリセットされます。

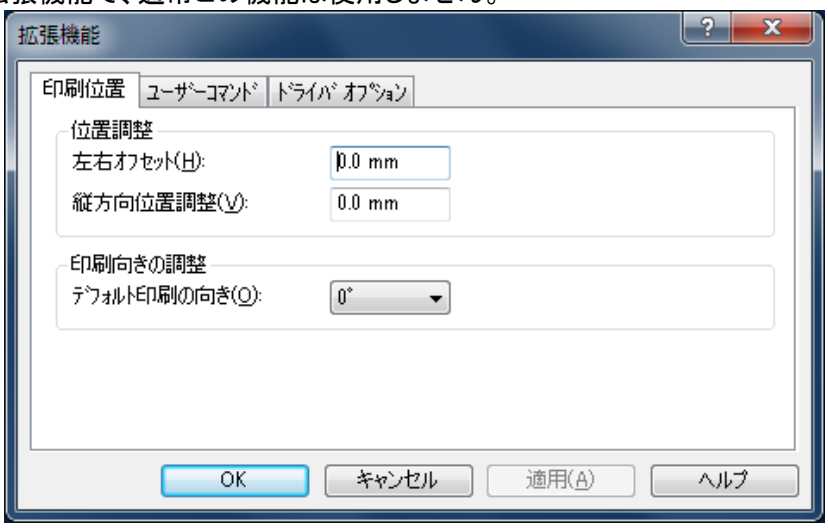


印刷設定を初期値に戻すには、「名前(A)」のプルダウンメニューより、「<デフォルト設定>」選択します。



⑥ アドバンスオプション

ドライバの拡張機能で、通常この機能は使用しません。



グラフィックプロパティ

ビットマップグラフィックに関する設定を行ないます。設定を変更するには、「適用(A)」ボタンを押下します。



① 解像度

プリンタの解像度を指定します。
プリンタの解像度により、この項目の値は固定されます。
203 DPI モデル： 8.0 ドット/mm x 8.0 ドット/mm
300 DPI モデル： 11.8 ドット/mm x 11.8 ドット/mm
400 DPI モデル： 16.0 ドット/mm x 16.0 ドット/mm

② ディザリング

これらの設定は、ビットマップグラフィックのみに影響します。
つまり、非ビットマップグラフィック（プリンタ搭載のフォントおよびバーコード）には影響しません。
ビットマップグラフィックに使用するディザリング操作を選択し、「色調整(L)」および「ディザリングセットアップ(D)」より調整を行います。

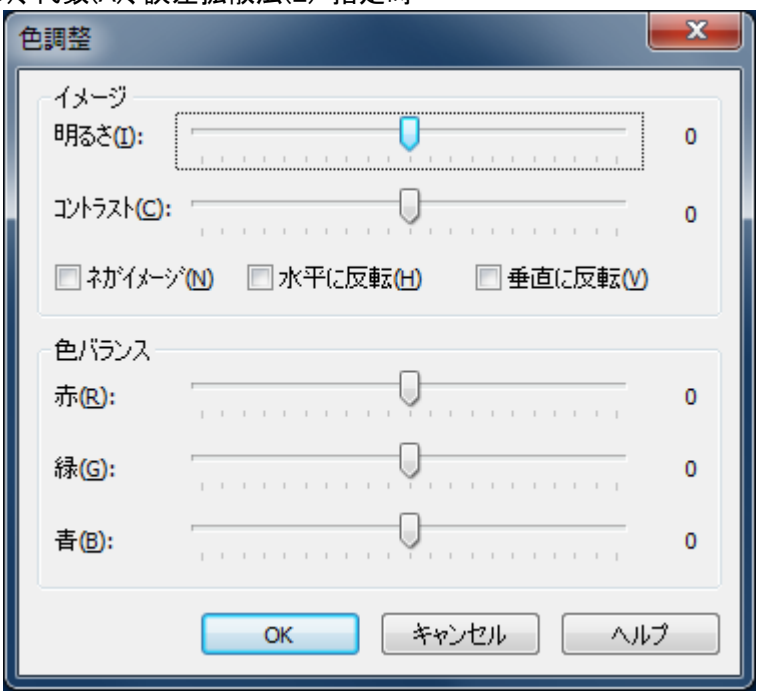
■ 色調整(L)

明るさやコントラストレベルなどを調整します。

・ ハーフトーン(H) 指定時



・ オーダード(O)、代数(A)、誤差拡散法(E) 指定時



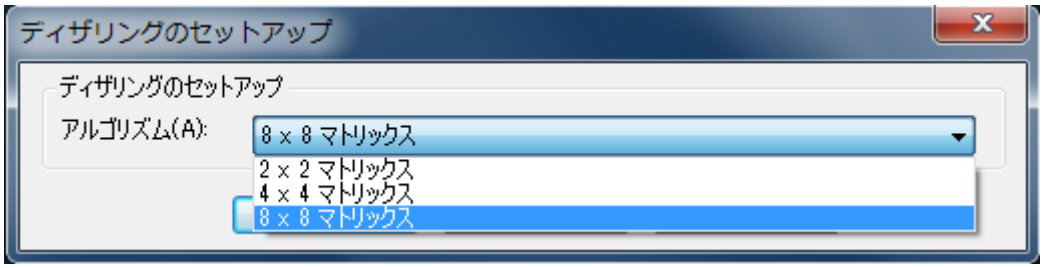
■ ディザリングのセットアップ(D)

ディザリングアルゴリズムパラメタを調整します。

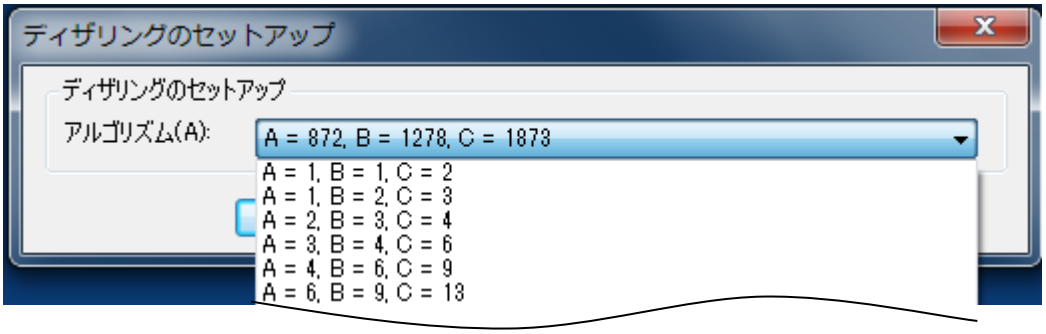
・ ハーフトーン(H) 指定時



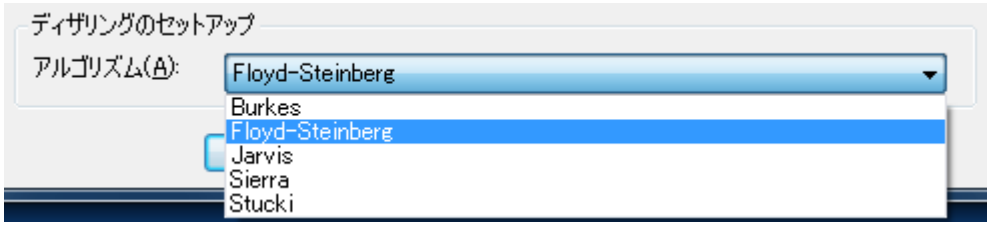
・ オーダード(O)指定時



・ 代数(A)指定時



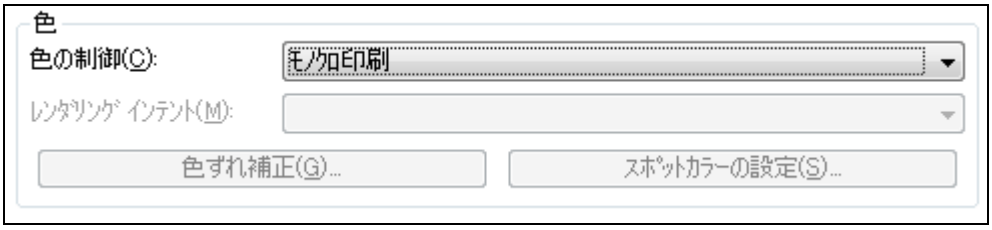
・ 誤差拡散法(E)指定時



③ 色

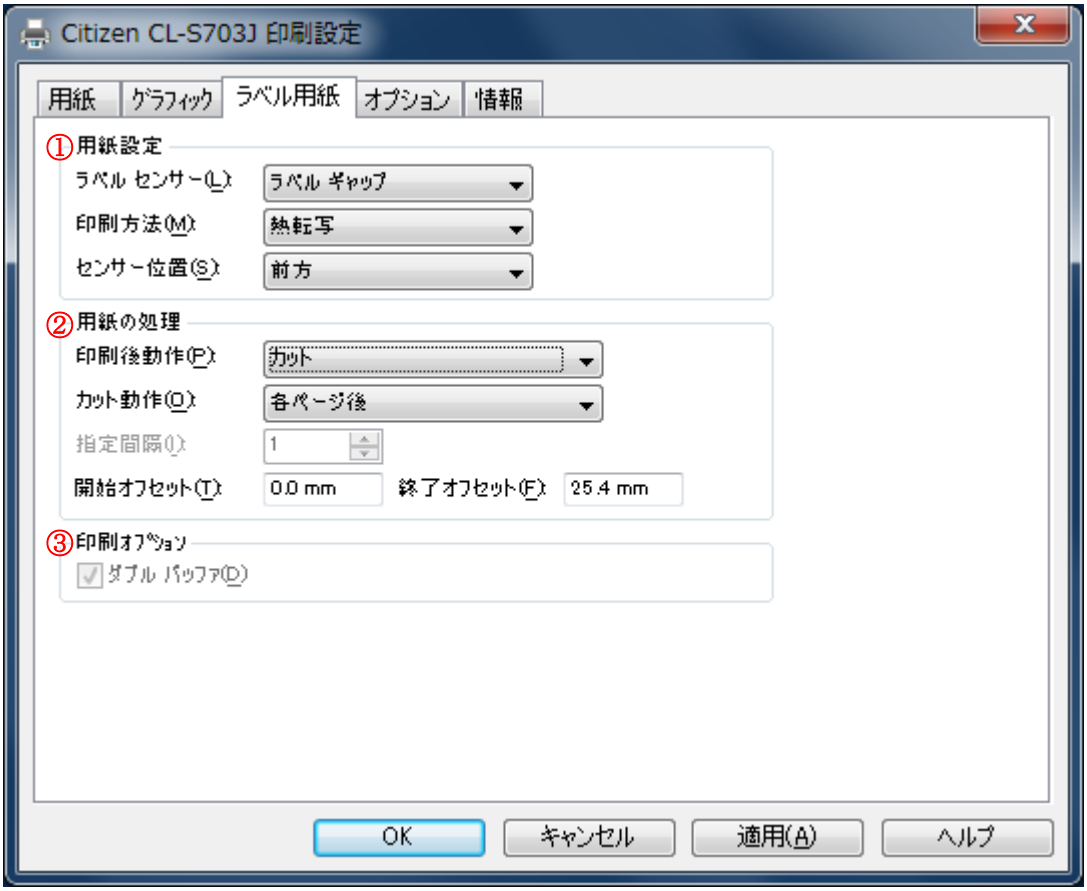
色の制御を指定するための項目です。

モノクロプリンタである CITIZEN バーコードラベルプリンタは、「モノクロ印刷」に固定されます。



ラベル用紙プロパティ

メディアに対するプリンタの動作を設定する為のプロパティです。設定を変更するには、「適用(A)」ボタンを押下します。



① 媒体設定

■ ラベルセンサー(L)

使用するメディアセンサーを選択します。

選択項目	動作
現在の設定	プリンタ側の設定に従う
無効	メディアセンサーを使用しない
ラベルギャップ	ギャップセンサー（透過式センサー）を使用
ラベルマーク	マークセンサー（反射センサー）を使用

■ 印刷方法(M)

印刷方法を選択します。

選択項目	動作
現在の設定	プリンタ側の設定に従う
感熱	感熱用紙を使用
熱転写	熱転写リボンを使用

■ センサー位置(S)

使用するメディアセンサーを選択します。

※メディアセンサーが前方と後方の両方に登載されたモデルのみ選択が可能です。

選択項目	動作
現在の設定	プリンタ側の設定に従う
前方	前方の固定センサーを使用
後方	後方のアジャスタブルセンサーを使用

② 用紙の処理

■ 印刷後動作(A)

印刷後の動作を指定します。

選択項目	動作
なし	印刷終了後ラベル（用紙）を印字ヘッド部分まで送り停止
手切り	印刷終了後ラベル（用紙）を手切りガイド部分まで送り停止
発行	手切り設定時と同じ、但しオプションの剥離機が装着されている場合は剥離設定と同じ
一時停止	印刷終了後ラベル（用紙）を手切りガイド部分まで送りポーズ状態で停止
カット	印刷終了後ラベル（用紙）をカットし停止
カットして一時停止	印刷終了後ラベル（用紙）をカットし、ポーズ状態で停止
剥離	オプションの剥離機装着時、印刷終了後剥離位置まで紙を送り、剥離待ちになる
巻取り	リワインダーモデルのみ設定可能

■ カット動作(O)

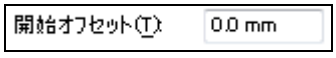
使用するメディアセンサーを選択します。

選択項目	動作
各ページ後	各ページ（ラベル）印刷毎に指定された動作を行なう
指定の間隔後	指定した間隔（枚数）毎に指定された動作を行なう
ラベルの同一コピー後	指定したラベルの同一コピー終了後に指定した動作を行なう
ジョブの最後	連続印刷の最後に指定された動作を行なう

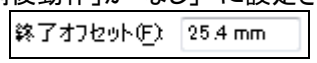
■ 開始オフセット(T)

印刷度動作(A)で選択した内容により、値が自動的に変わります。

カット位置や印刷位置を変更したい場合、直接値を入力する事もできます。直接入力を行う場合は、各製品の取扱説明書をご参照ください。



■ 終了オフセット(F)
印刷度動作(A)で選択した内容により、値が自動的に変わります。
カット位置や印刷位置を変更したい場合、直接値を入力する事もできます。直接入力を行う場合は、各製品の取扱説明書をご参照ください。
※CLP-7000 シリーズでは、「印刷後動作」が「なし」 に設定されている場合は非表示となります。



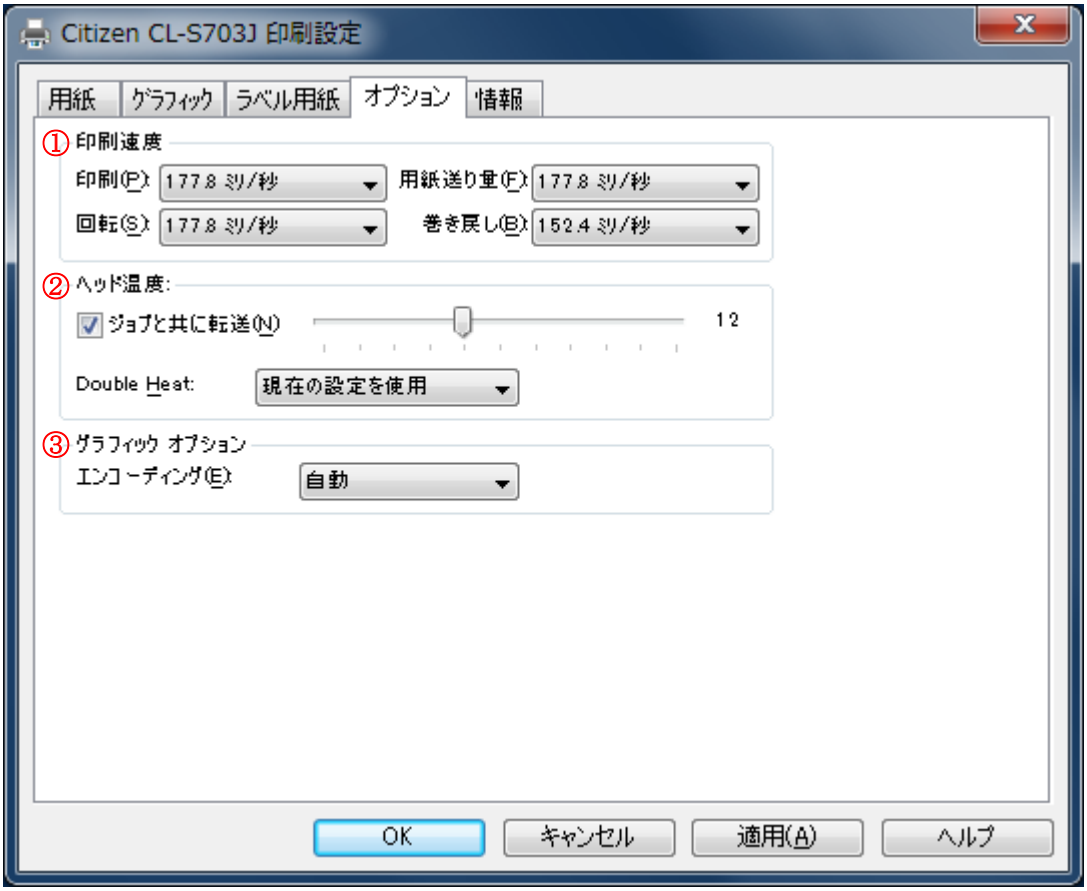
③ 印刷オプション

■ ダブルバッファ(D)
プリンタをダブルバッファモードで使用します。
チェックを入れると、プリンタは2つの内部編集用メモリで印刷データの編集を行なうため、スループットの向上が期待できます。
※全モデル、ダブルバッファ有効で固定



オプションプロパティ

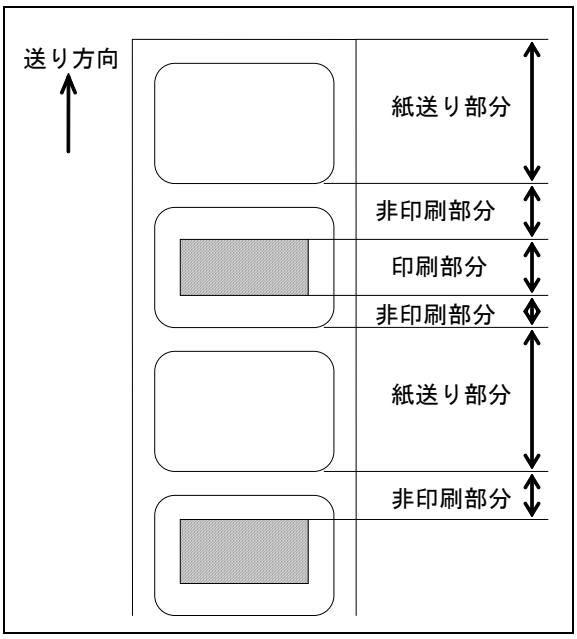
ドライバのオプション機能の設定です。設定を変更するには、「適用(A)」ボタンを押下します。



① 印刷速度

印字スリップや印字カスレが起こらないよう、印刷部分と非印刷部分の速度を個別に調整します。
■ モデルによって、選択可能な速度の範囲が変わります。

選択項目	内容
印刷(P)	印刷部分の速度を指定します
用紙送り量(F)	非印刷部分の速度を指定します
フィード回転(S)	紙送り部分の速度を指定します
巻き戻し(B)	バックフィード時の速度を指定します



② ヘッド温度

■ ジョブと共に転送(N)

印刷濃度を調整します。

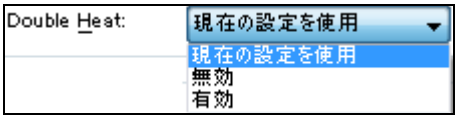
指定範囲は、0(低)～30(高) です。



■ Double Heat:

高濃度印刷(Double Heat)を行うかを設定します。

印刷濃度に問題が無い場合は、無効に設定して下さい。



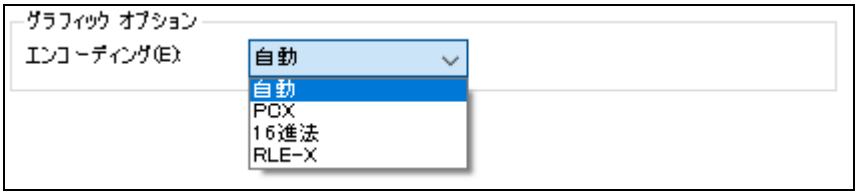
選択項目	内容
現在の設定を使用	プリンタの設定に従います
無効	高濃度印刷を無効にします(プリンタの初期値)
有効	高濃度印刷を有効にします

③ 印刷オプション

■ コーディング(E)

指定されたグラフィックの圧縮形式を選択します。

モノクロ2階調の連長圧縮方式である PCX または RLE-X(非対応モデルあり)に変換し、プリンタへ送信します。



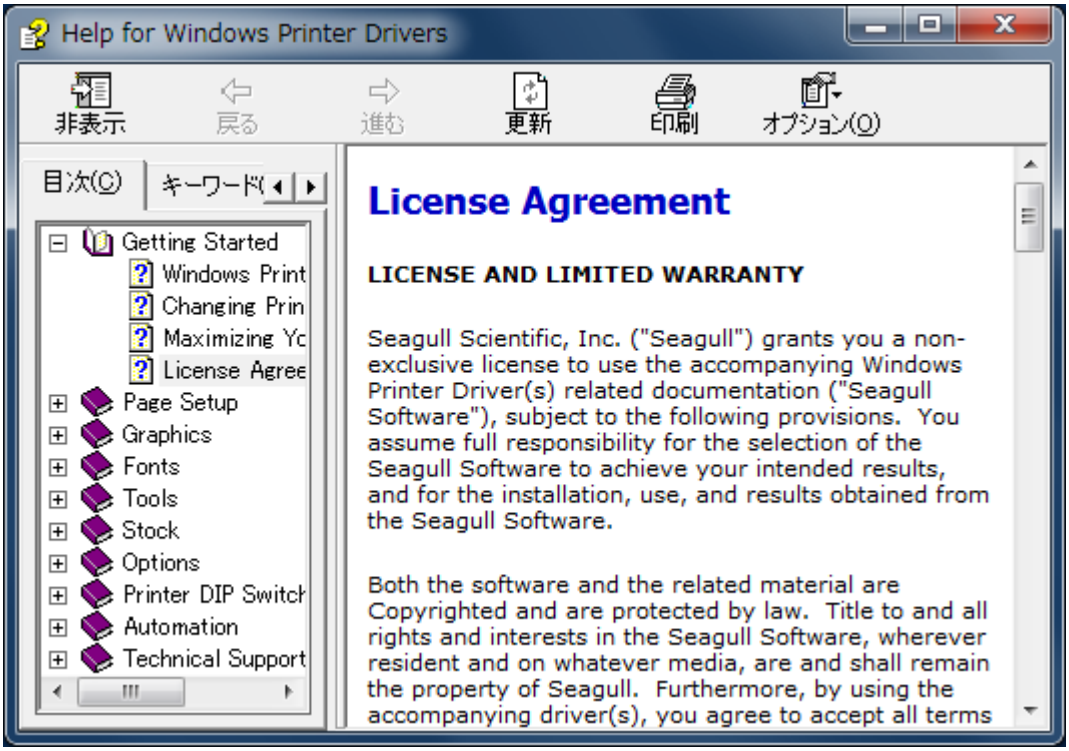
情報プロパティ

ドライバに関する情報を確認する為のプロパティです。



① **ライセンス(L)**

ライセンス規約が表示されます。



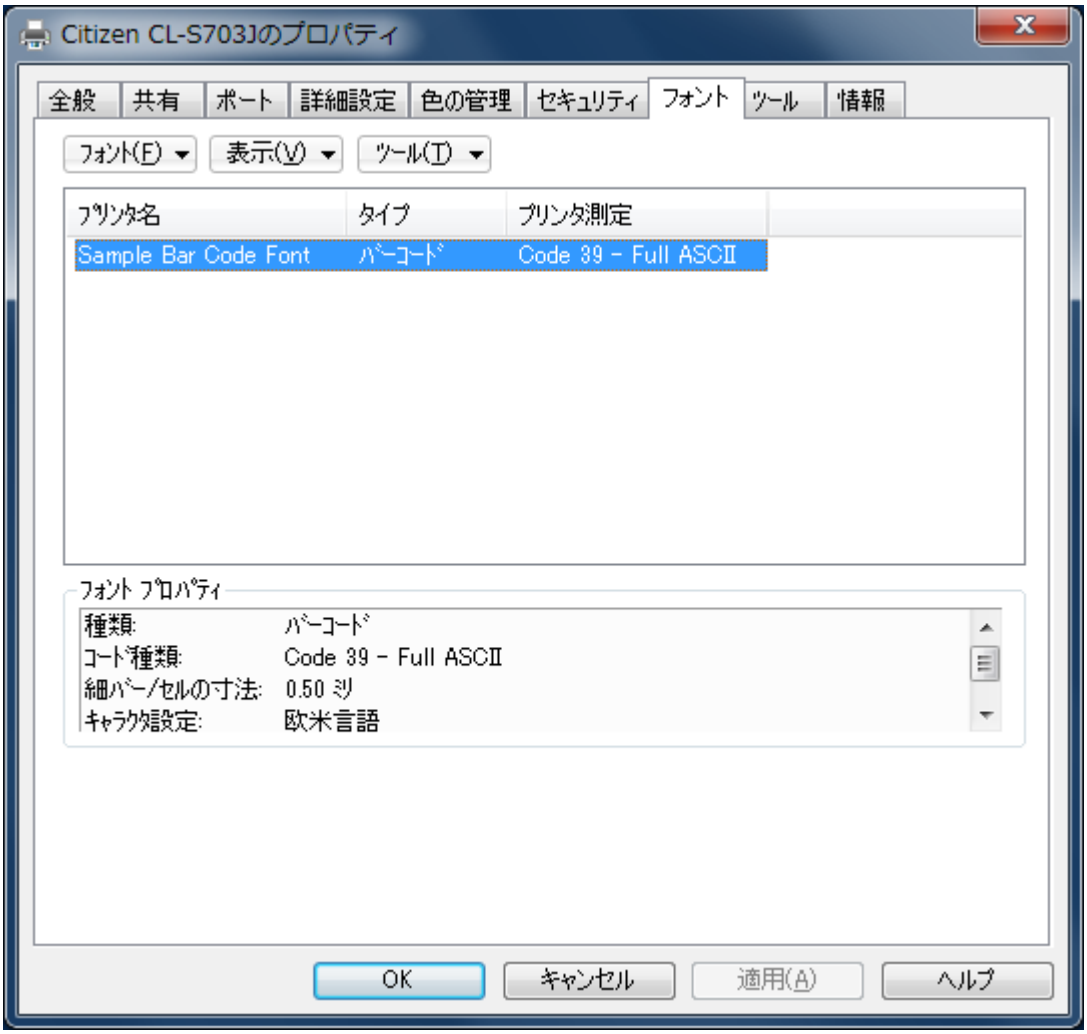
② バージョン(V)

バージョンのプロパティウィンドが表示されます。
保存(S)を押下にて、システム環境、ドライバ設定、用紙ストック情報などが HTML 形式でファイル保存されます。
トラブル発生の際の弊社サポートにて、このファイルのご提示をお願いする場合があります。



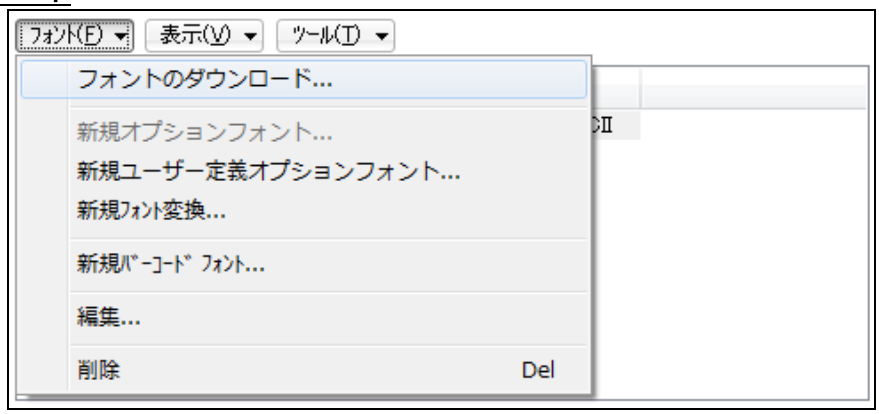
５． フォントの設定

「フォント」タブより、フォントやバーコードフォントに関する操作を行ないます。設定を変更するには、「適用(A)」ボタンを押下します。



５－１． フォントプロパティ

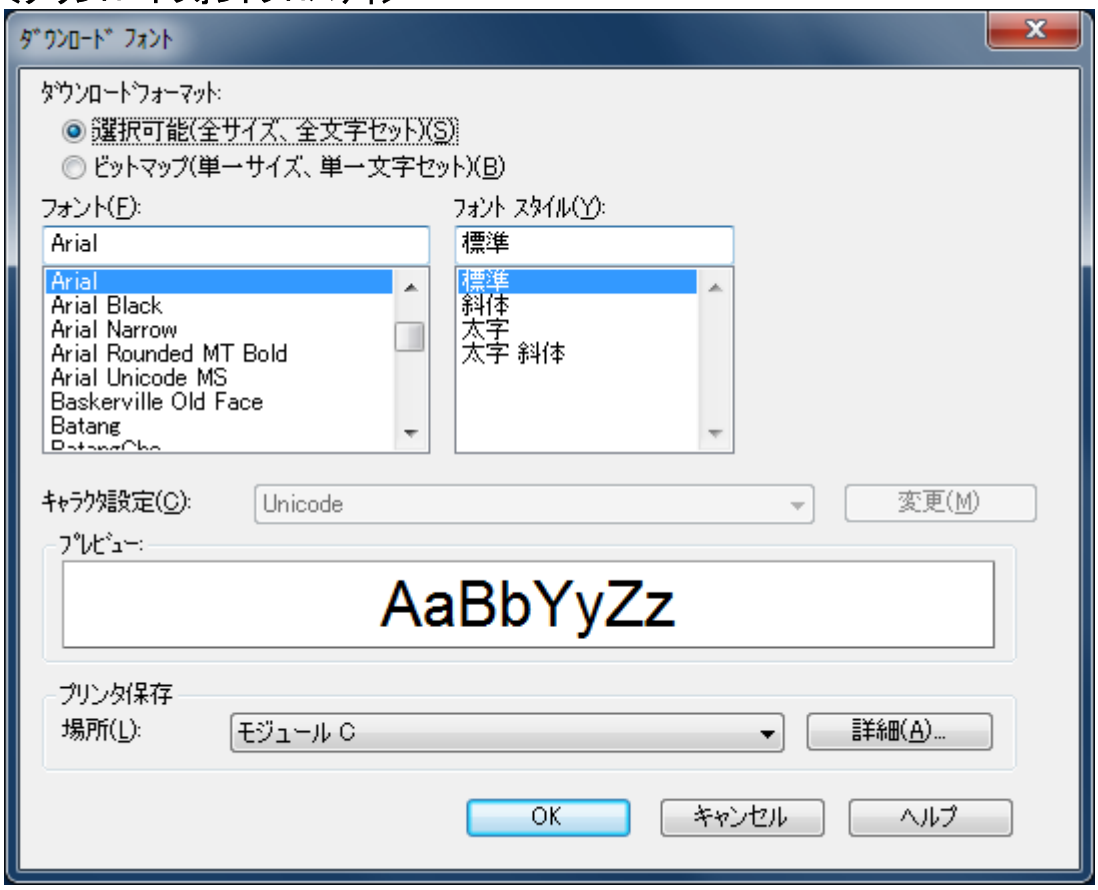
フォントのダウンロード



通常、OS にインストールされた TrueTypeFont を印刷する際は、指定された TrueTypeFont をドライバがビットマップグラフィックに加工し、プリンタへ転送する方式が取られますが、その加工されたグラフィックは極めて大量なデータとなり、これが要因でスループットの低下につながることがあります。
この問題を解決するために、シチズンバーコードラベルプリンタには、フォント登録機能が搭載されています。この機能は、使用する TrueTypeFont そのものを予めプリンタのユーザーメモリにプリンタフォントとして名前をつけて保存しておき、上位アプリケーションから保存済みのフォント名を指定し印刷を行なうものです。
以上のことから、この機能を利用することでスループットの低下を抑えることができます。

※ 注意
プリンタのユーザーメモリサイズを越えたフォントは利用できません。プリンタのユーザーメモリサイズは、各モデルの取扱説明書に記載されていますので、ご確認下さい。

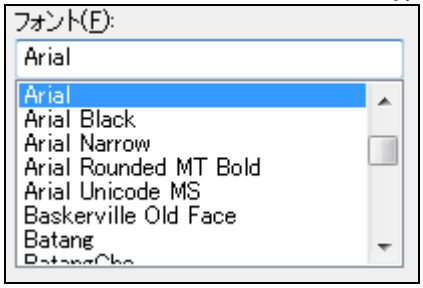
＜ダウンロードフォントプロパティ＞



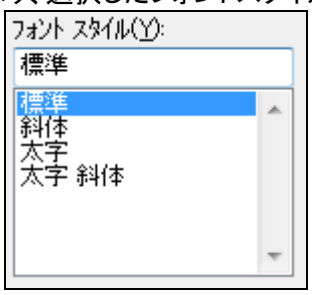
① ダウンロードフォントプロパティのウィンドより、ダウンロードフォーマットを選択します。
ここでは、プリンタにスケーラブルフォントとしてダウンロードするか、または、ビットマップフォントとしてダウンロードするかを選択します。

選択項目	内容
選択可能(全サイズ、全文字セット)(S)	スケーラブルフォントとしてダウンロードします。 全てのキャラクタを利用できます。
ビットマップ(単一サイズ、単一文字セット)(B)	ビットマップフォントとしてダウンロードします。 日本語キャラクタを指定の際は、英数字、カタカナはダウンロードされますが、漢字は利用できません。

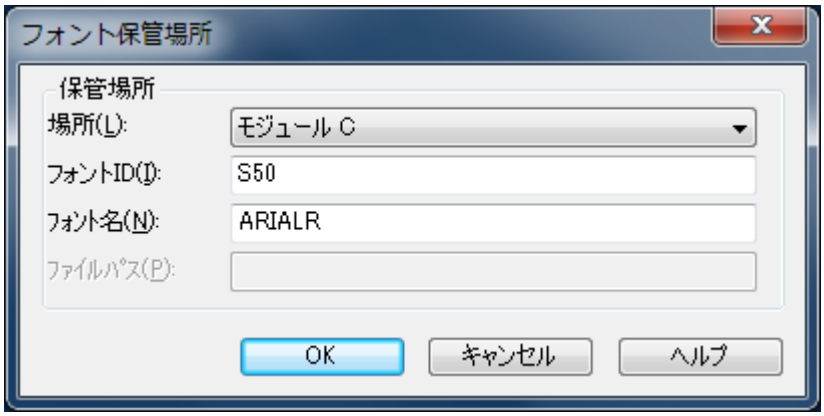
③ 「フォント(F)」のリストより、OS にインストールされた TrueTypeFont を選択します。



③「フォントスタイル(Y)」のリストより、選択したフォントスタイル選択します。



④ プリンタのユーザーメモリモジュール、フォント ID、フォント名を変更する場合は、「詳細(A)」ボタンを押下の上、「フォント保管場所」のダイアログより操作を行ないます。
※この設定の詳細は、プリンタのコマンドリファレンスを参照して下さい。



■ 場所(L)
使用するメモリモジュールを指定します。

	モジュール C	モジュール D	モジュール G
Citizen CL-S400DTJ/S400DTIIJ/S403DTIIJ	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM
Citizen CL-S520/S520II	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM
Citizen CL-S530/S530II	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM
Citizen CL-S620/620II	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM
Citizen CL-S630/630II	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM
Citizen CL-E300J	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM
Citizen CL-E303J	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM
Citizen CL-E321J	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM
Citizen CL-E331J	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM
Citizen CL-S700J/S700IIJ/S700IIIJ	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM
Citizen CL-S703J/S703IIJ/S703IIIJ	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM
Citizen CL-E720J	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM
Citizen CL-E730J	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM

SD-RAM： 揮発性メモリ　　FLASH ROM： 不揮発性メモリ

■ フォント ID(I)

スケーラブルフォント選択時のフォント ID 指定範囲は下表の通りです。

	フォント ID	意味
全モデル	S50 ～ S5z,… S90 ～ S9z	1 ﾊﾞｲﾄ系 TrueType, ﾊﾞｲﾅﾘｰ指定
	s50 ～ s5z,… s90 ～ s9z	1 ﾊﾞｲﾄ系 TrueType, HEX ASCII 指定
	U50 ～ U5z,… U90 ～ U9z	2 ﾊﾞｲﾄ漢字 TrueType, ﾊﾞｲﾅﾘｰ指定
	u50 ～ u5z,… u90 ～ u9z	2 ﾊﾞｲﾄ漢字 TrueType, HEX ASCII 指定

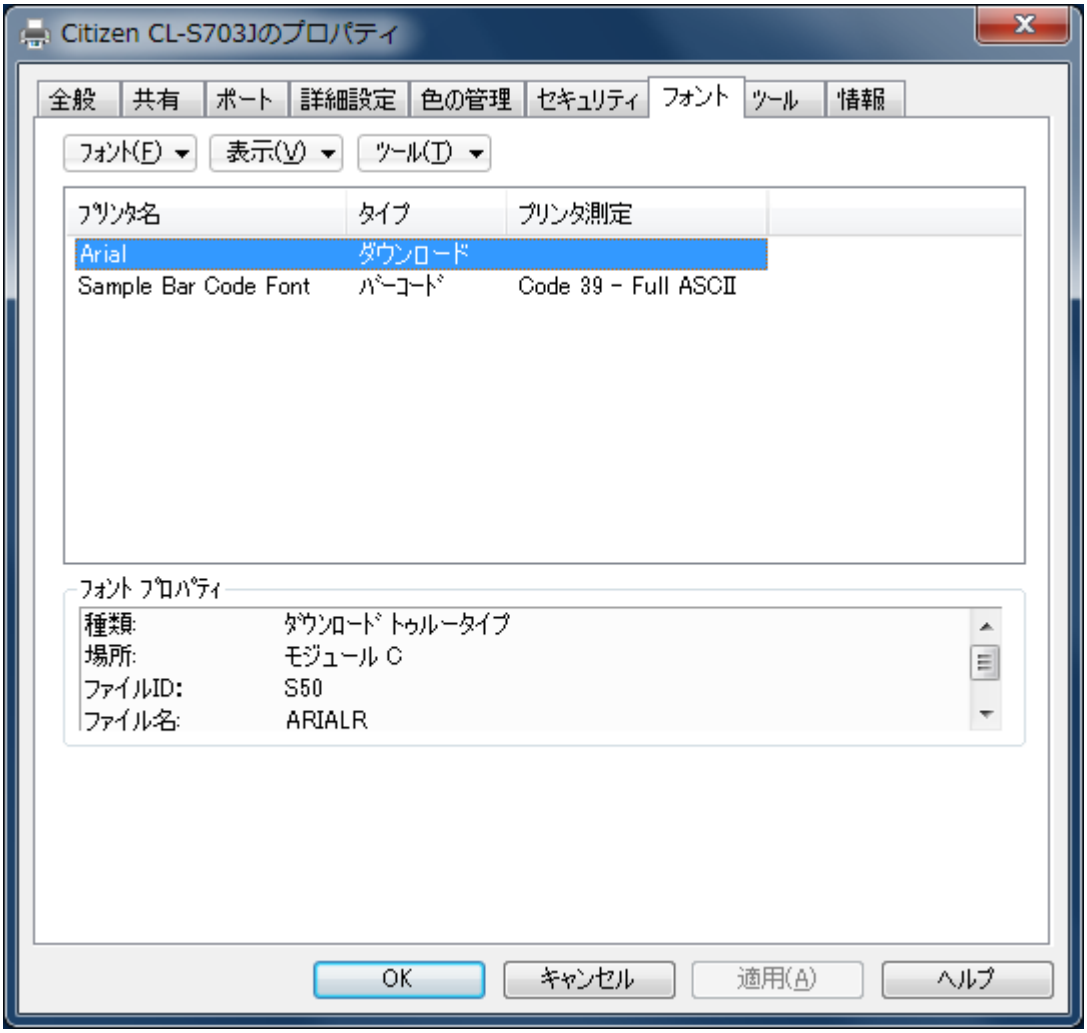
ビットマップフォント選択時のフォント ID 指定範囲は下表の通りです。

	フォント ID
全モデル	100～999

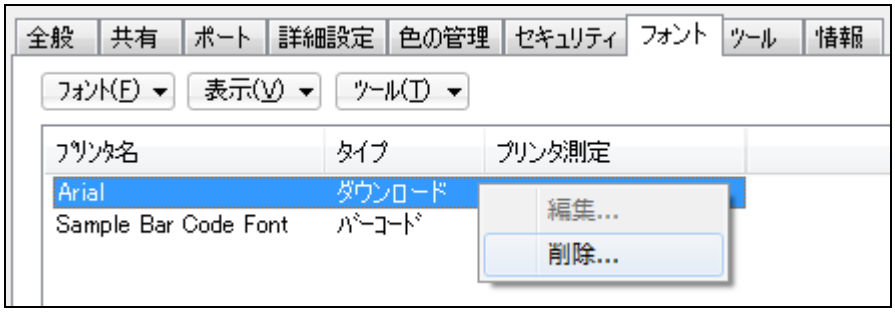
■ フォント名(N)

任意の文字列を入力します。(最高16文字迄)

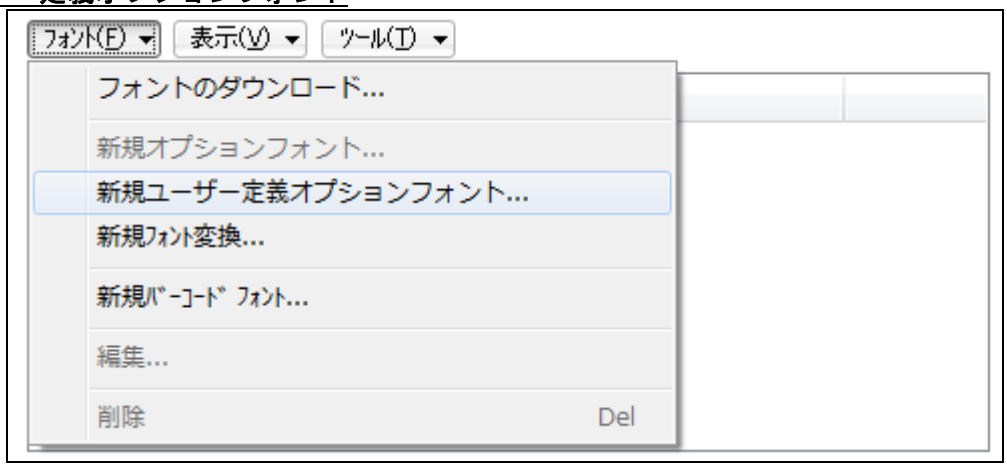
⑤ ダウンロードフォントプロパティウィンド上の「OK」ボタンを押下します。すると、指定されたフォントのダウンロードが開始し、フォントプロパティのリストにそのフォントが追加されます。



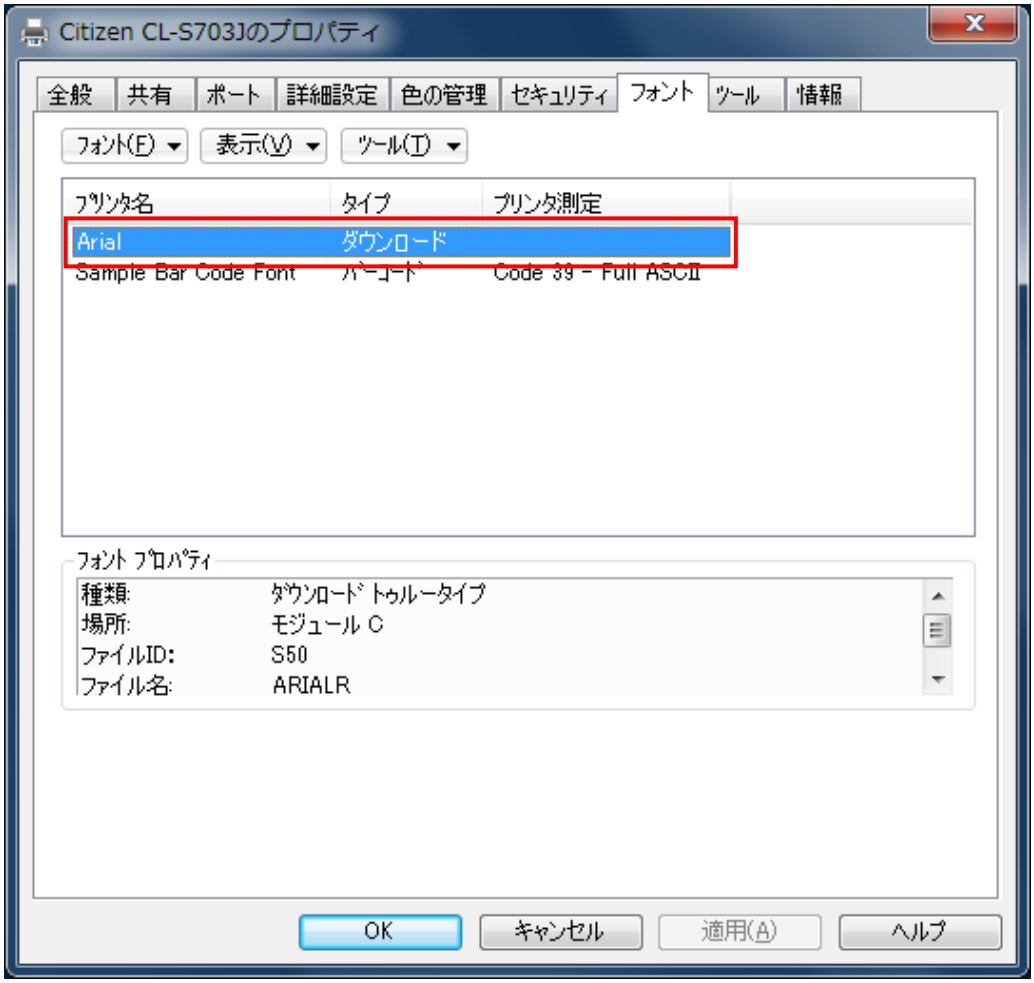
⑥ ダウンロードフォントの削除を行うには、フォントプロパティのリストより削除したいダウンロードフォントを右クリックし、「削除」を押下します。



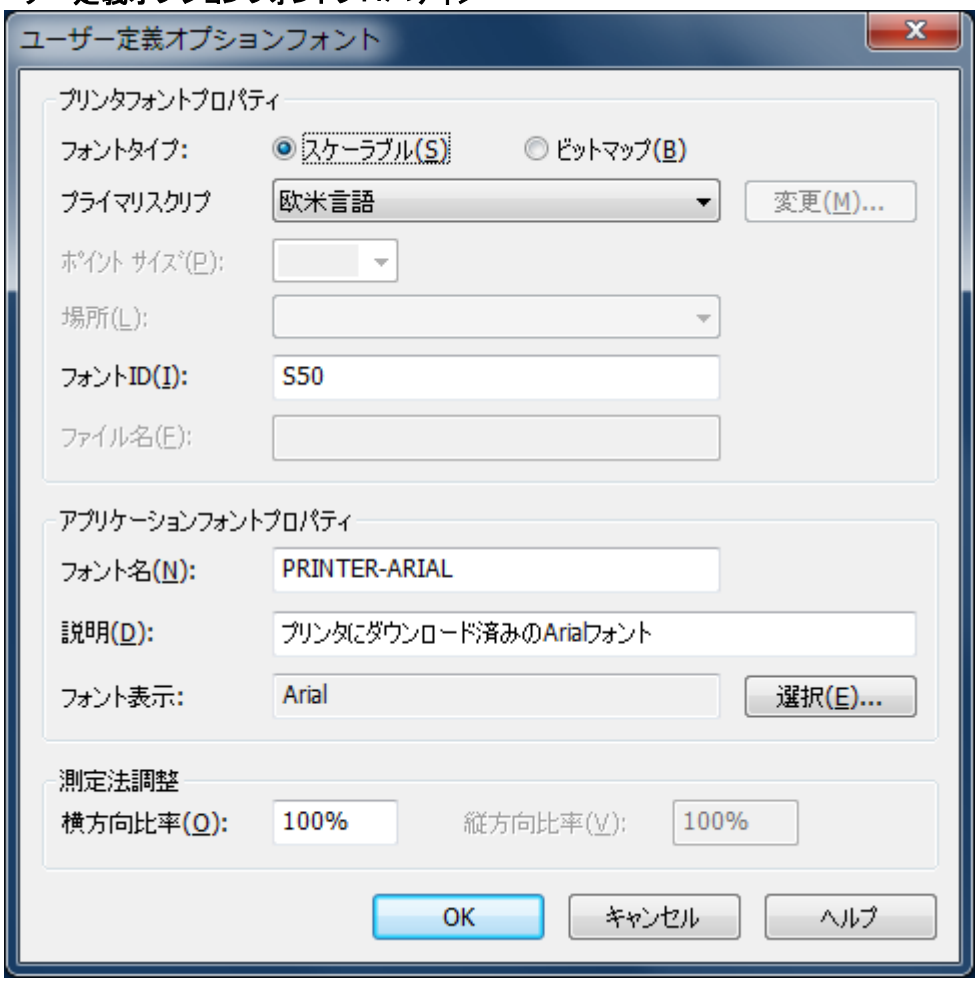
新規ユーザー定義オプションフォント



ダウンロードフォントプロパティにて定義済みのダウンロードフォントをユーザー定義する為のオプションです。
ここでは、ダウンロード済みの「Arial」を例に説明します。



＜ユーザー定義オプションフォントプロパティ＞



① プリンタフォントプロパティ

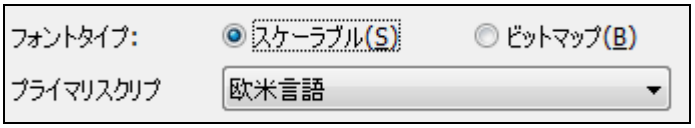
■ フォントタイプ:

ダウンロードフォントプロパティにて定義済みのダウンロードフォントがスケーラブルフォントかビットマップフォントかを指定します。

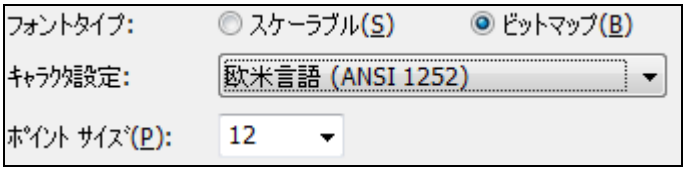
選択項目	内容
スケーラブル	スケーラブルフォントしてダウンロード済み
ビットマップ	ビットマップフォントとしてダウンロード済み

■ プライマリスクリプ:

「スケーラブル」選択時、プライマリ言語を指定します。



「ビットマップ」選択時、キャラクタ設定、フォントのポイントサイズを指定します。



■ フォント ID:

ダウンロードフォントプロパティで定義済みのフォント ID を入力します。



② アプリケーションフォントプロパティ

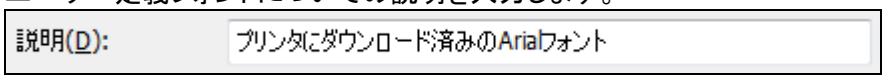
■ フォント名(N):

アプリケーションソフトウェアのフォントリストに追加される任意のフォン名を入力します。



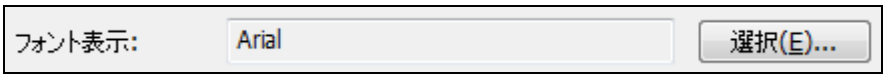
■ 説明(D):

このユーザー定義フォントについての説明を入力します。



■ フォント表示:

選択(E)ボタンを押下し、ダウンロードフォントプロパティで定義済みのフォント名を指定します。



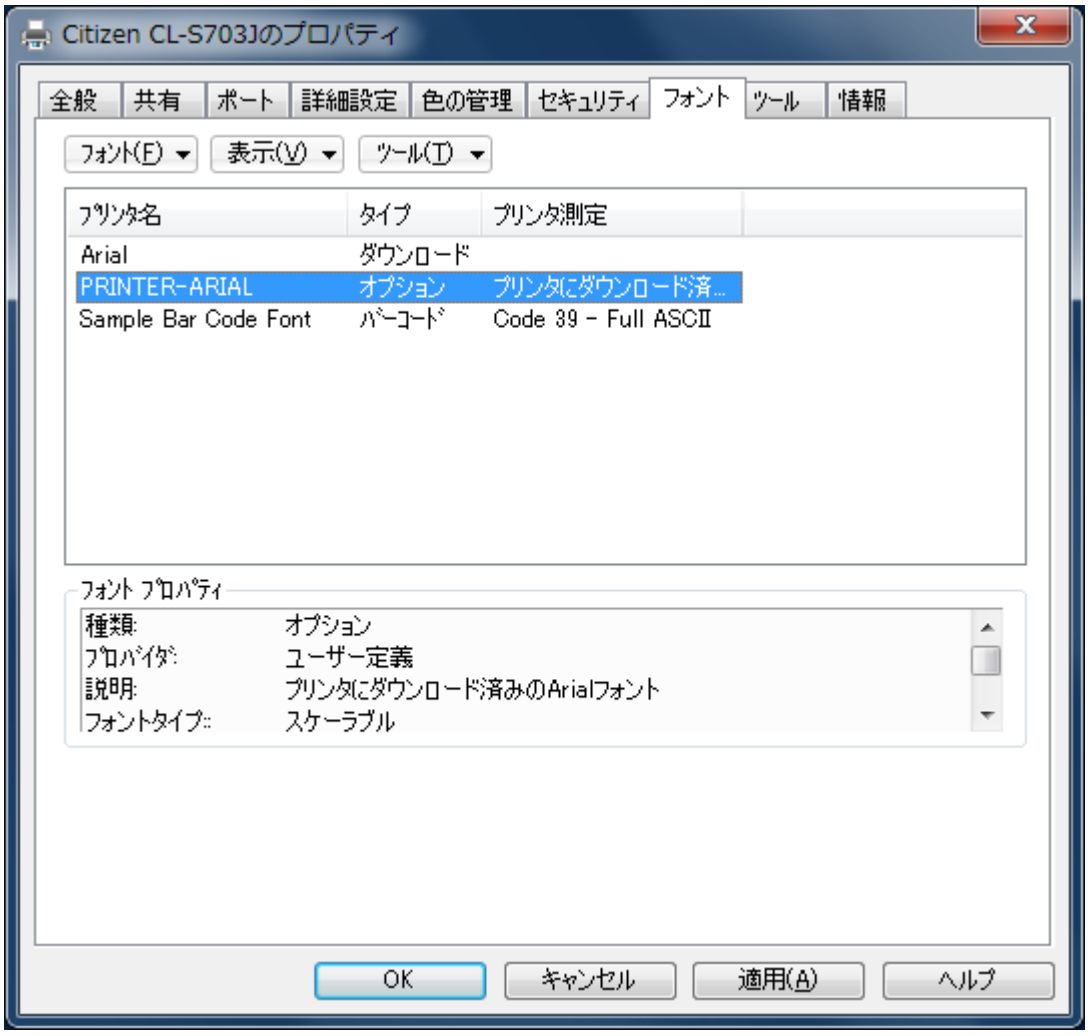
③ 測定法調整

■ 横方向比率(D):

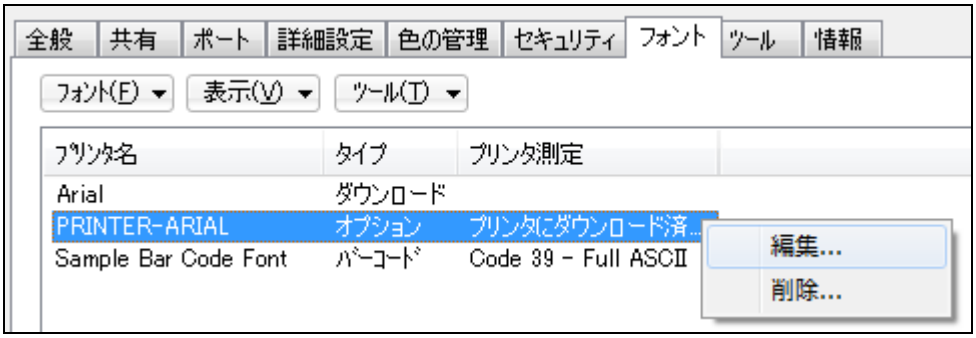
「スケーラブル」選択時、スケーラブルフォントの横方向比率を指定します。



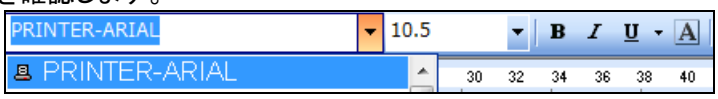
④ ユーザー定義オプションフォントプロパティ上の「OK」ボタンを押下します。すると、定義されたフォントがフォントプロパティのリストに追加されます。最後に「適用」ボタンを押下します。



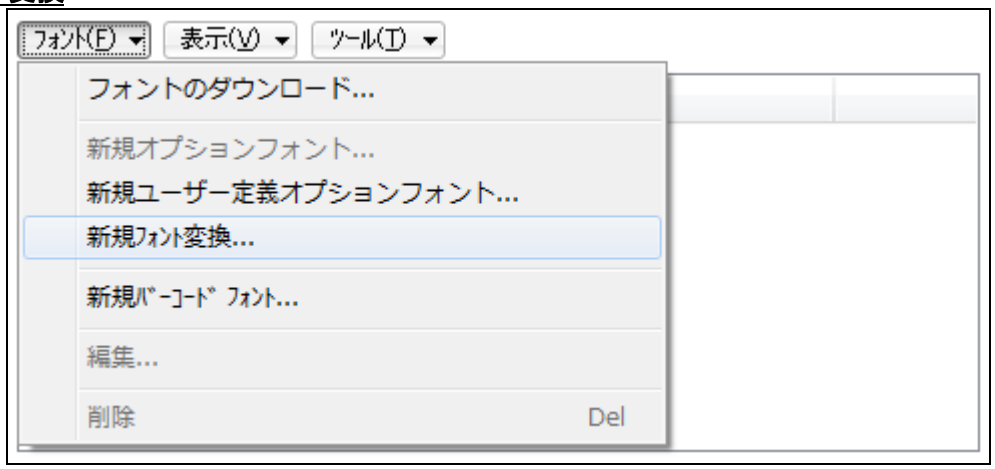
⑤ オプションフォントの編集および削除を行うには、フォントプロパティのリストより該当のオプションフォントを右クリックし、「編集」または「削除」を押下します。



⑥ 任意のアプリケーションソフトウェアを起動し、フォントリストに定義されたオプションフォントが追加されていることを確認します。

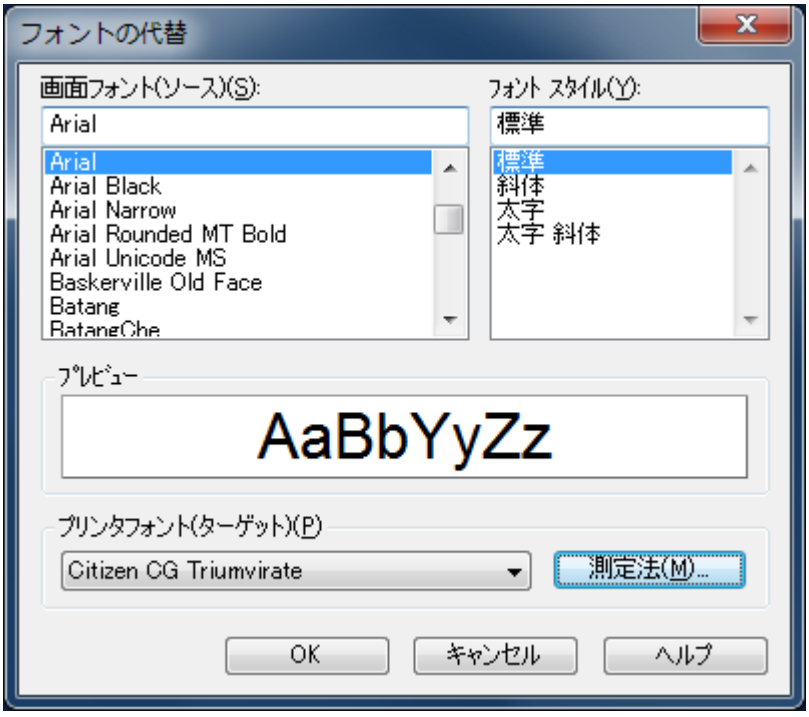


新規フォント変換



ドライバは、OS にインストールされたフォントをプリンタフォントに置き換えます。
この機能を使用することで、プリンタフォントを選択することのできないアプリケーションソフトウェアより、プリンタフォントを印刷することが可能になります。

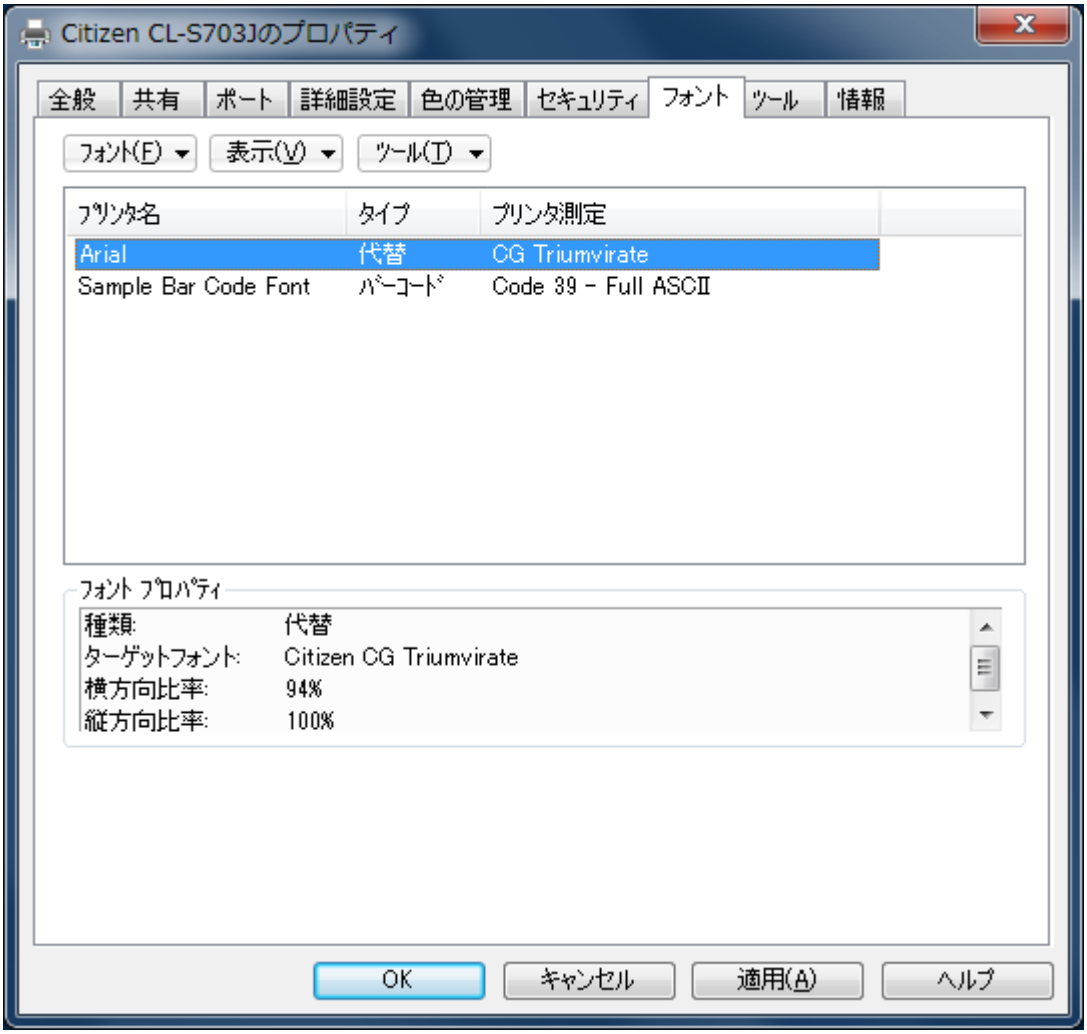
＜フォント代替プロパティ＞



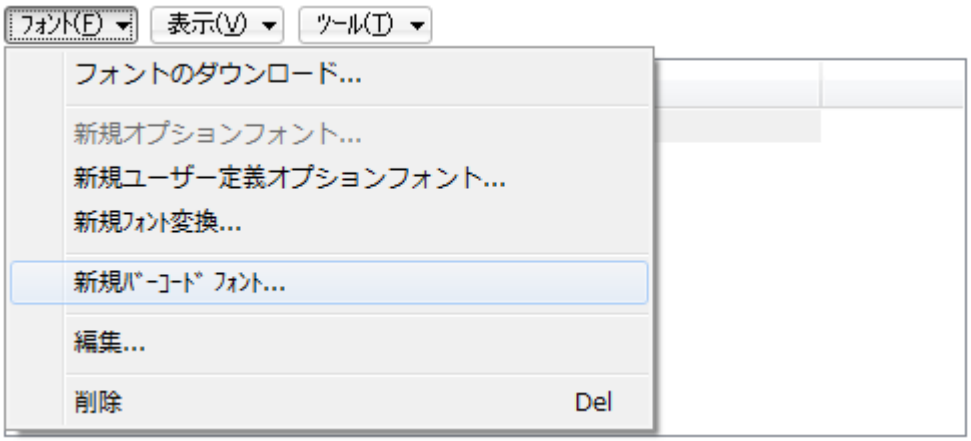
① フォントの代替プロパティのウィンド「フォント(ソース)(S)」のリストより、プリンタフォントに代替したい OS のフォントを選択します。

② 「プリンタフォント(ターゲット)(P)」より、代替したいプリンタフォントを選択します。

③ 「OK」ボタンを押下すると、フォントプロパティのリストに代替フォントが追加されます。

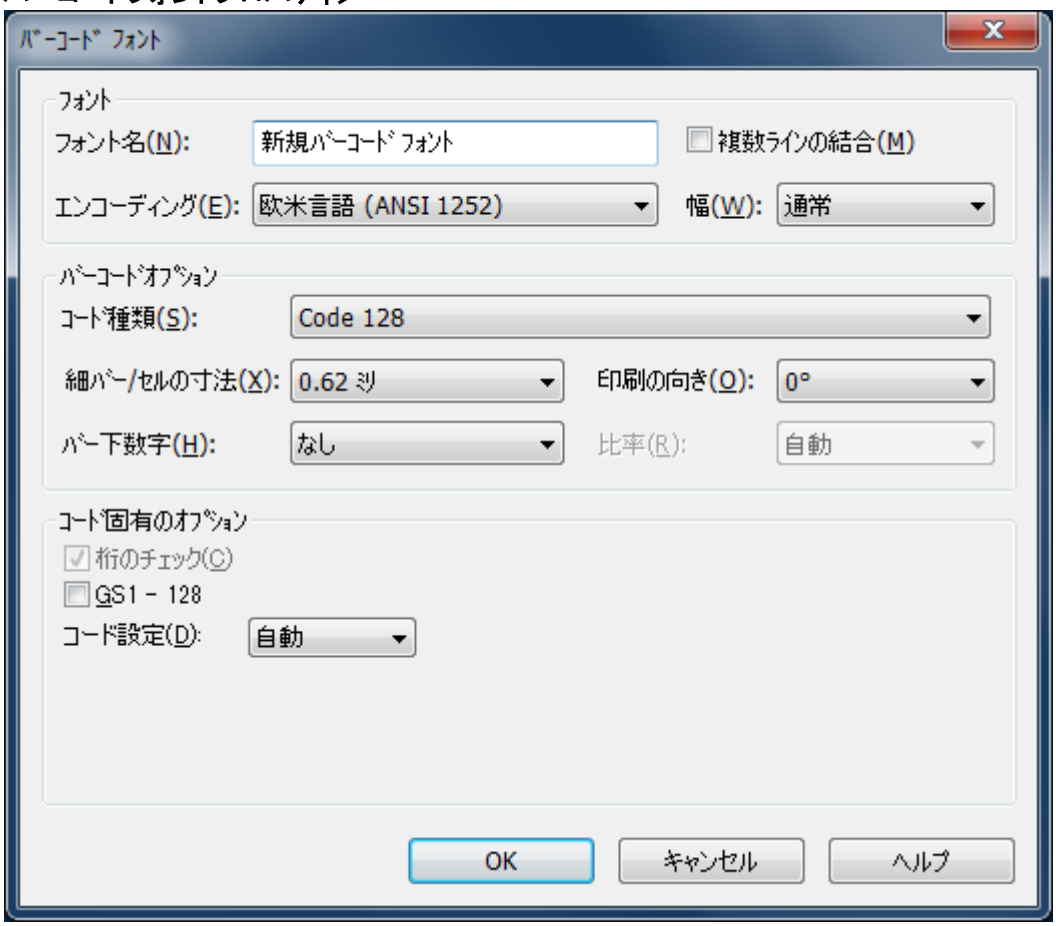


新規バーコードフォント



使用するプリンタバーコードフォントを定義しフォントプロパティに追加します。
この機能は、バーコードフォントをプリンタにダウンロードするものではありません。

＜バーコードフォントプロパティ＞



① 「フォント」の項目より、フォント名、キャラクタ設定、幅、複数ラインの結合を指定します。

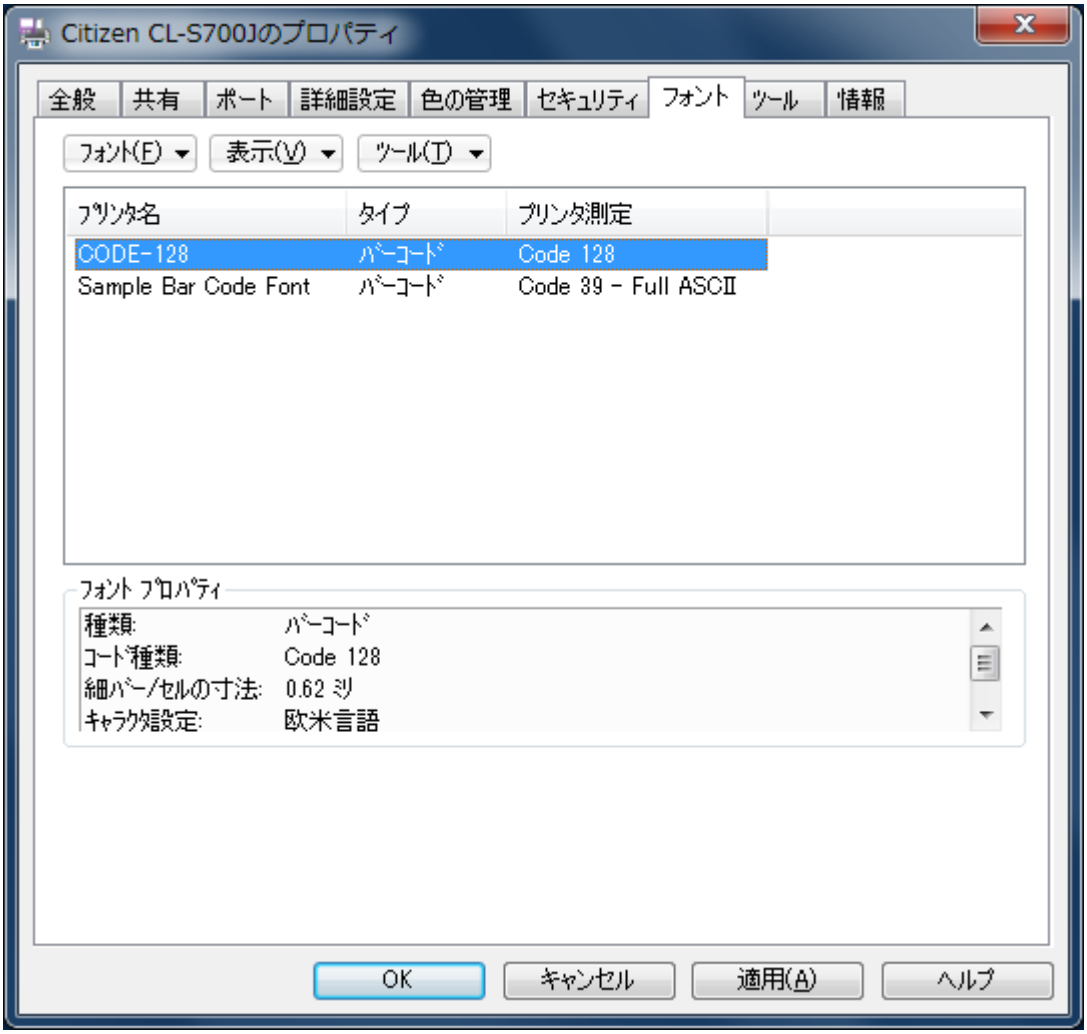
指定項目	内容
フォント名(N)	任意のフォント名を入力
キャラクタ設定(E)	コードページを指定します ※国際文字はサポートされません
幅(W)	印刷プレビュー時のシンボルテキストの幅を指定します ※シンボルのエレメント幅には影響しません
複数ラインの結合(M)	同一ページに指定されたシンボルテキストを結合し、一つのシンボルとして印刷します

② 「バーコードオプション」の項目より、コードの種類、細バー／セルの寸法、印刷の向き、バー下数字（開始コード）、比率を指定します。

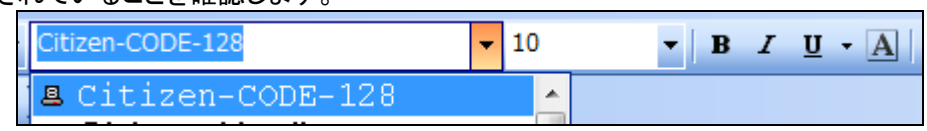
選択項目	内容
コード種類(S)	バーコードのシンボルを指定します
細バー／セルの寸法(X)	ナローバー幅（最小エレメント幅）を指定します
印刷の向き(O)	シンボルの回転方向を指定します
バー下数字(H)	ヒューマンリーダブルキャラクタ（可視コード）をシンボルの下に付加するか否かを指定します
比率	ナロー／ワイドのエレメント比率を指定します

③ 「コード固有のオプション」の項目より、バーコード固有のオプションを指定します。

④ 「OK」ボタンを押下すると、フォントプロパティのリストに定義したバーコードフォントが追加されます。
最後に「適用」ボタンを押下します。



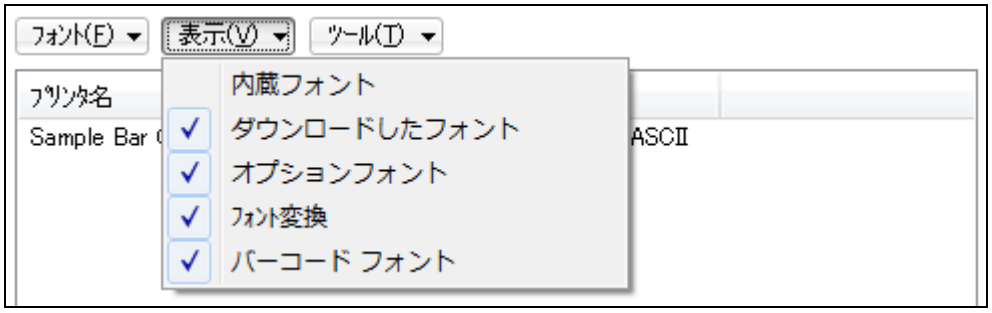
⑤ 任意のアプリケーションソフトウェアを起動し、そのフォントリストに定義されたバーコードフォントが追加されていることを確認します。



※ 注意
アプリケーションソフトウェアからは、定義済みのバーコードフォン名の先頭に”Citizen-”を追加して呼び出して下さい。

５－２． 表示

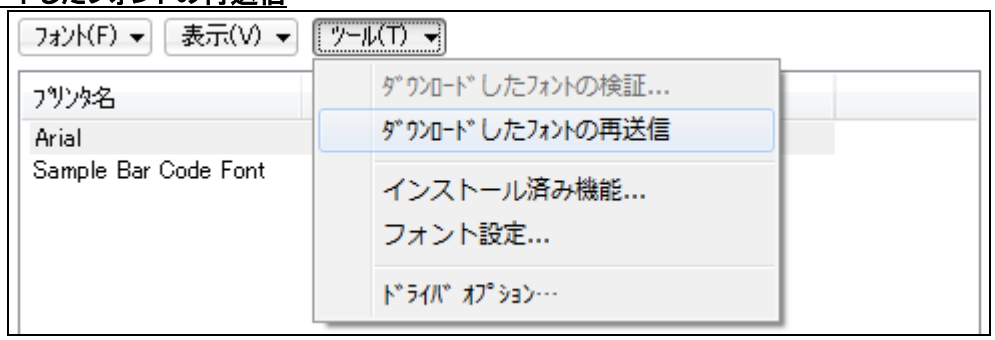
定義された各フォント名をリストに表示します。



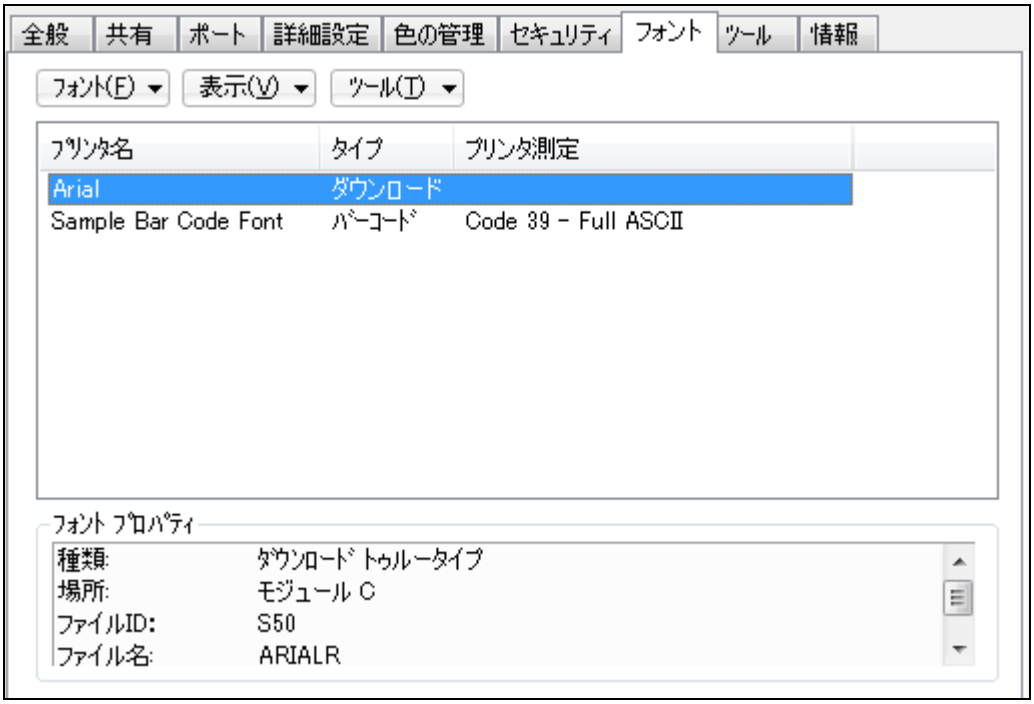
指定項目	内容
プリンタフォント	プリンタフォント、デフォルトのバーコードフォント、バーコードフォントプロパティで追加されたバーコードフォント名をリストに表示します
ダウンロードしたフォント	プリンタへダウンロード済みのフォント名をリストに表示します
オプションフォント	ユーザー定義オプションフォントプロパティで追加されたフォント名を表示します
フォント変換	フォント代替プロパティで追加されたフォント名を表示します
バーコードフォント	デフォルトのバーコードフォント、バーコードフォントプロパティで追加されたバーコードフォント名を表示します

５－３． ツール

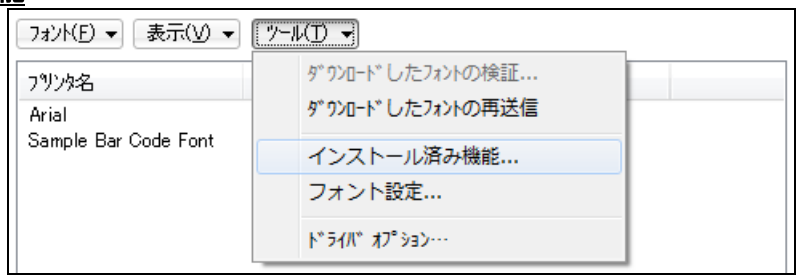
ダウンロードしたフォントの再送信

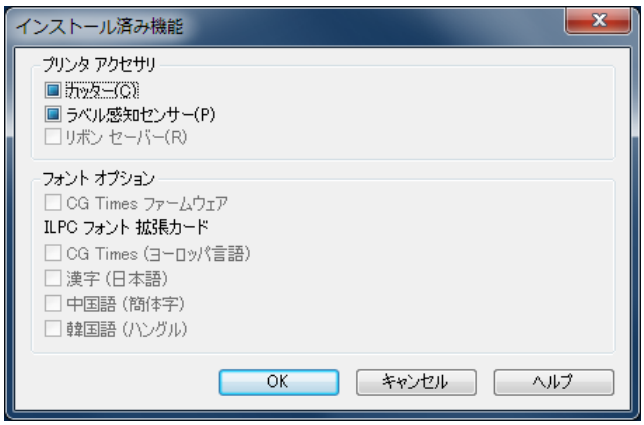


フォントリストに表示された「ダウンロードしたフォント」フォントをプリンタへ再送信します。



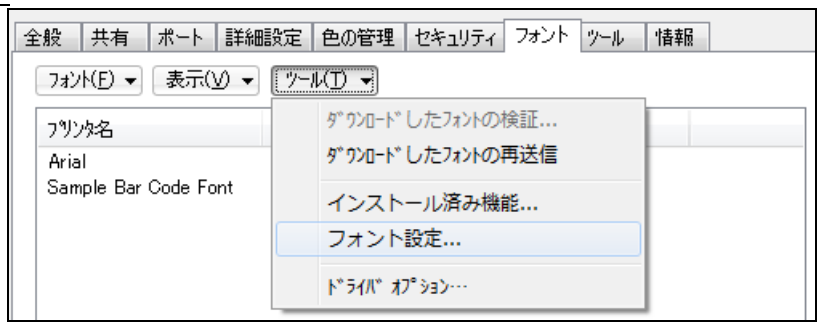
インストール済み機能

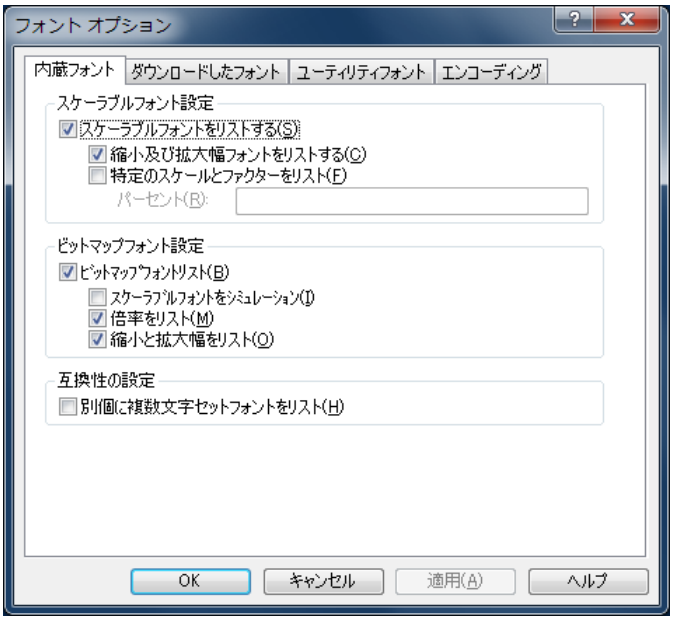




通常は変更不要です。

フォントオプション

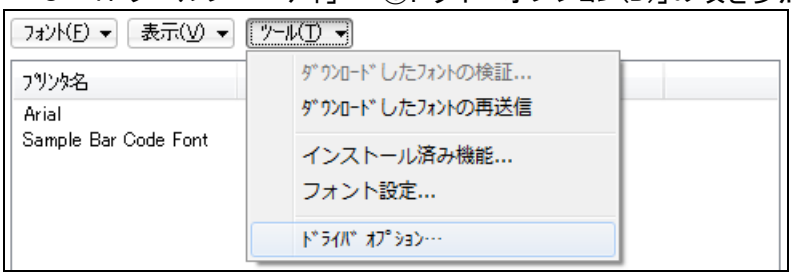


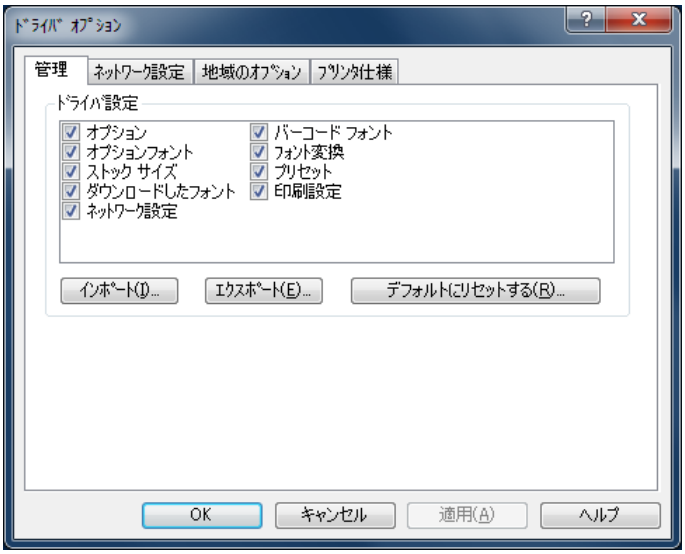


通常は変更不要です。

ドライバオプション

「6. ドライバツール」→「6－1. ツールプロパティ」→「①ドライバオプション(D)」の項を参照下さい。



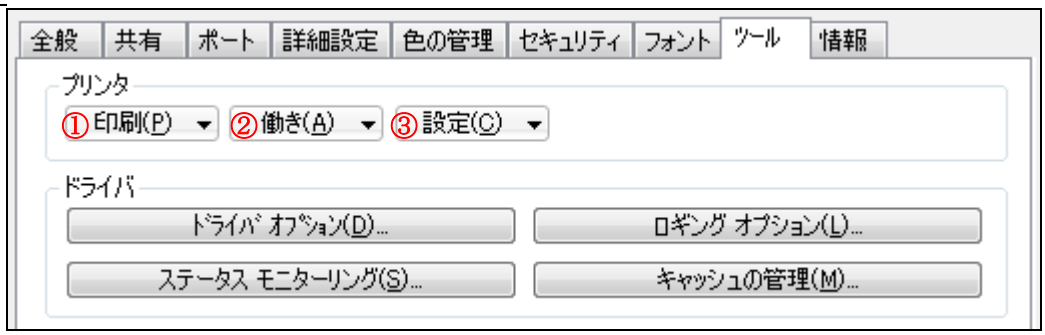


６． ドライバツール

６－１． ツールプロパティ

「ツール」タブを選択するとツールプロパティが表示されます。プリンタのメンテナンスを行なう為のプロパティです。

プリンタ



① 印刷(P)

以下のテストを行ないます。

選択項目	動作
汎用テスト	ボックス罫線の中に「TEST」の文字が印字されます
プリンタテスト	プリントパターンが印字されます
空白ページ	ラベルが１枚空送りされます
設定	プリンタの「マシン情報」および「現在の設定」の一覧が印字されます。

② 働き(A)

以下のテストを行います。

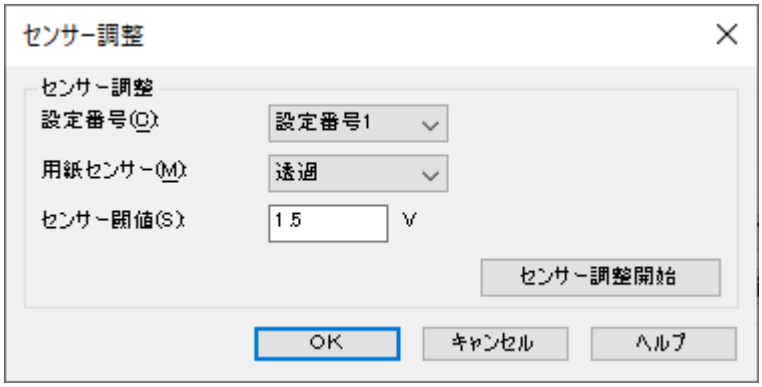
選択項目	動作
フォームフィード	ラベルが一枚空送りされます
切り取り	オートカッターのテストが行えます
プリンタファイルを管理する	未対応
プリンタのリセット	プリンタがリセットされます（電源がOFF/ONされた動作と同等）
出荷時の規定値にリセット	プリンタが工場出荷時の設定に戻されます
プリンタコマンド送信	「プリンタコマンド送信」ダイアログが表示され、プリンタの制御コマンドを直接送信します
ファイルをプリンタに送信	予め作成されたバイナリファイルをプリンタへ送信します

③ 設定(C)

選択項目	内容
プリンタオプション	通常は変更不要です
インストール済み機能	通常は変更不要です
温度補正係数調整	通常は変更不要です
センサー調整	用紙センサーの調整を行います
メモリの設定	ユーザーメモリモジュールの設定を行います ※「5－1．フォントプロパティ」のダウンロードフォントプロパティの項目を併せてご参照下さい。
プリンタークロックの設定	通常は変更不要です

■センサー調整

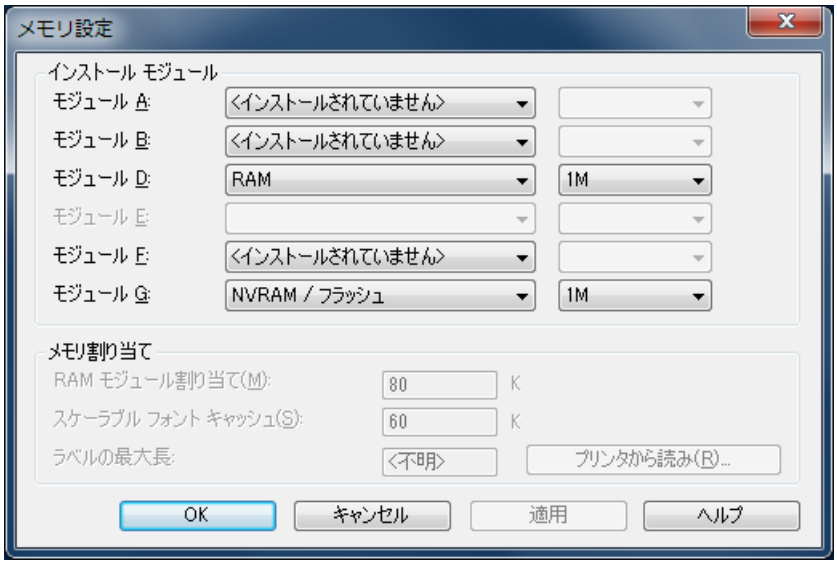
設定番号、用紙センサー、センサー閾値を指定します。
「センサー調整開始」ボタンを押下すると、プリンタはセンサー調整を開始します。
尚、センサー閾値は、先ずは初期値を指定のうえ、センサー調整を行ってください。
センサー調整に失敗した時は、センサー閾値を変更のうえ、再度センサー調整を行ってください。



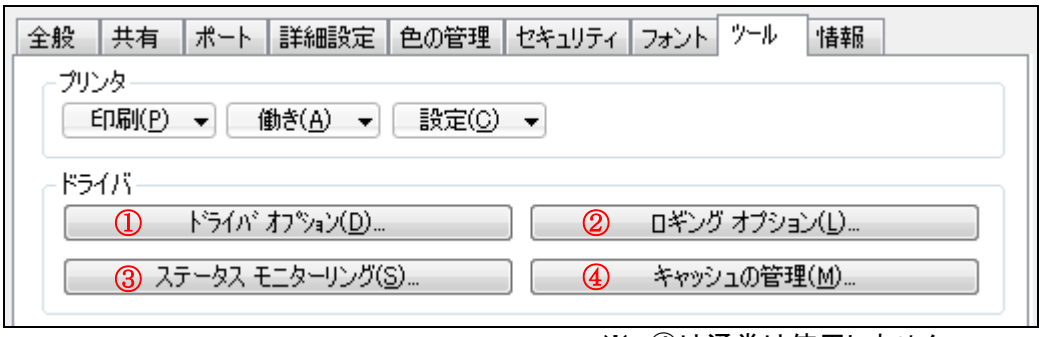
選択項目	内容
設定番号	設定番号1～3
用紙センサー	透過、反射
センサー閾値	0.0V～3.3V ※初期値：1.5V

■ メモリの設定

プリンタのメモリモジュールの割当がデフォルトの状態では、メモリ設定を下表の通りに設定する必要があります。



ドライバ

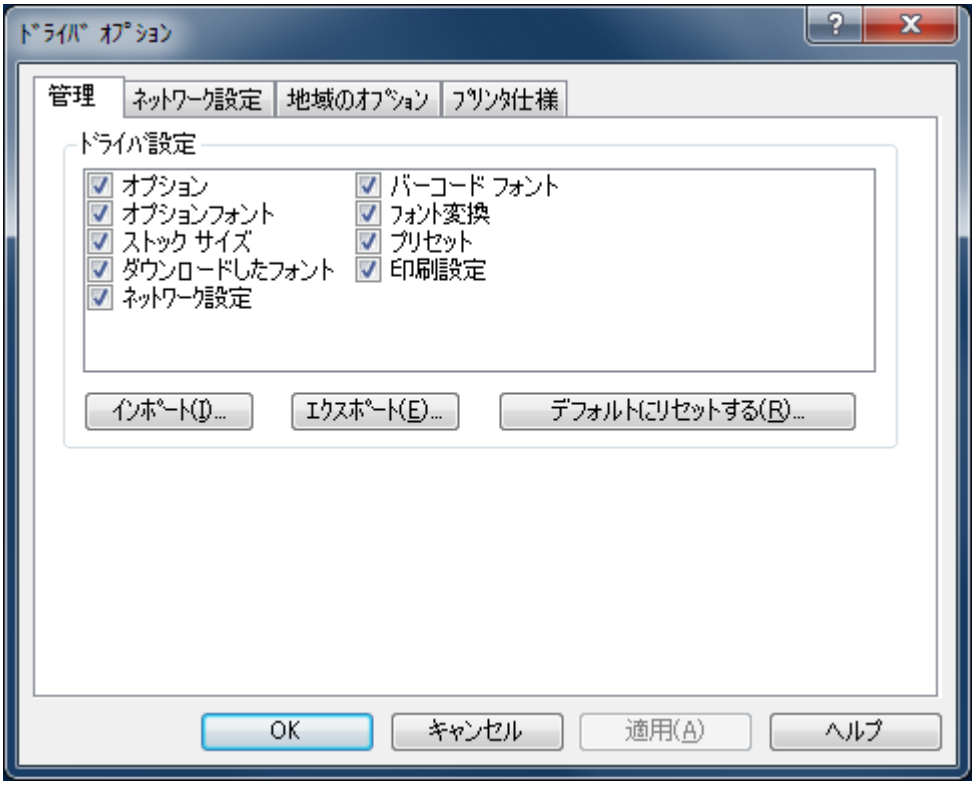


※ ④は通常は使用しません。

① ドライバオプション(D)

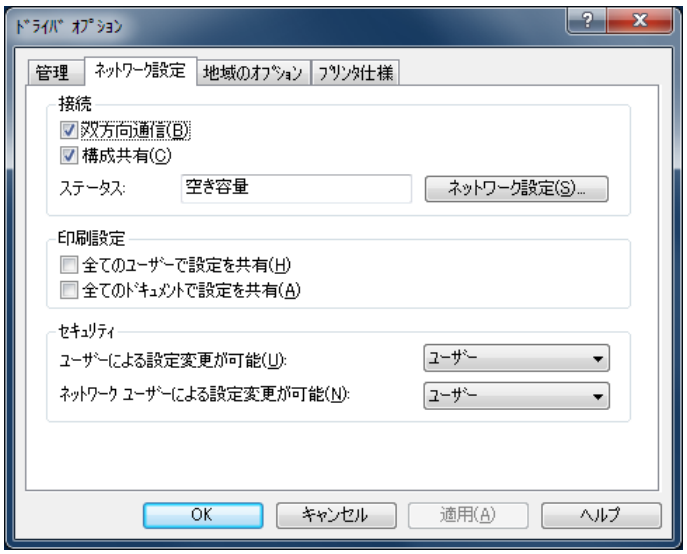
■ 管理

ドライバ設定（プリンタ設定、用紙サイズ、フォント設定などの情報）の保存および復元を行ないます。「インポートおよびエクスポート」の一覧より保存／復元を行ないたい項目にチェックを入れ、インポートおよびエクスポートを行なってください。



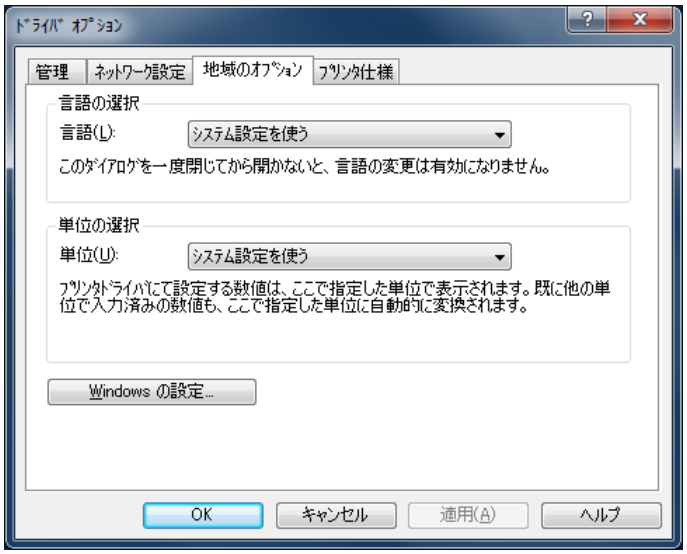
選択項目	動作
インポート(I)	「ファイルを開く」ダイアログより、保存されたSDSファイルを選択し、ドライバ設定を復元します
エクスポート(E)	「名前を付けて保存」ダイアログより、現在のドライバ設定を保存します
デフォルトにリセットする(R)	ドライバの設定をデフォルトに戻します

■ ネットワーク設定



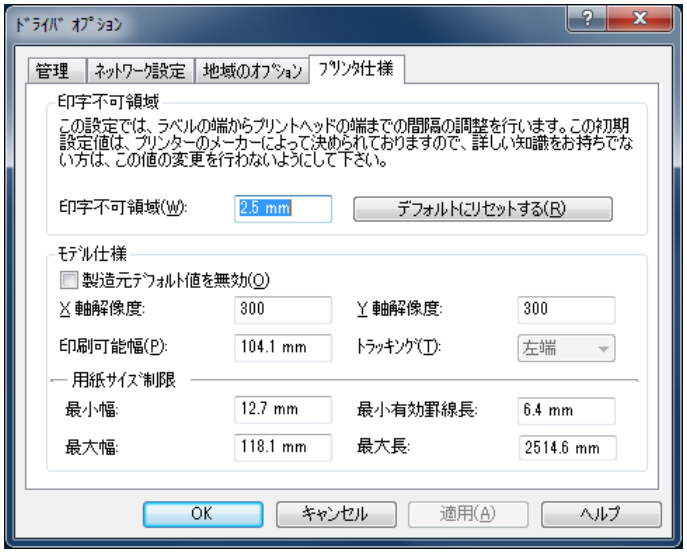
通常は変更不要です。

■ 地域オプション



通常は変更不要です。

■ プリンタ仕様



通常は変更不要です。

② ロギングオプション(L)

ドライバ出力の際のログ作成、および出力データ(バイナリファイル)の記録を行ないます。

＜ロギング＞

■ ログ

CSV およびテキスト形式にて詳細ログを作成します。

「ログ」→「新規ログ」より、ジョブロギングウィザードが起動します。本ウィザードの指示に従い、ログの内容を定義して下さい。



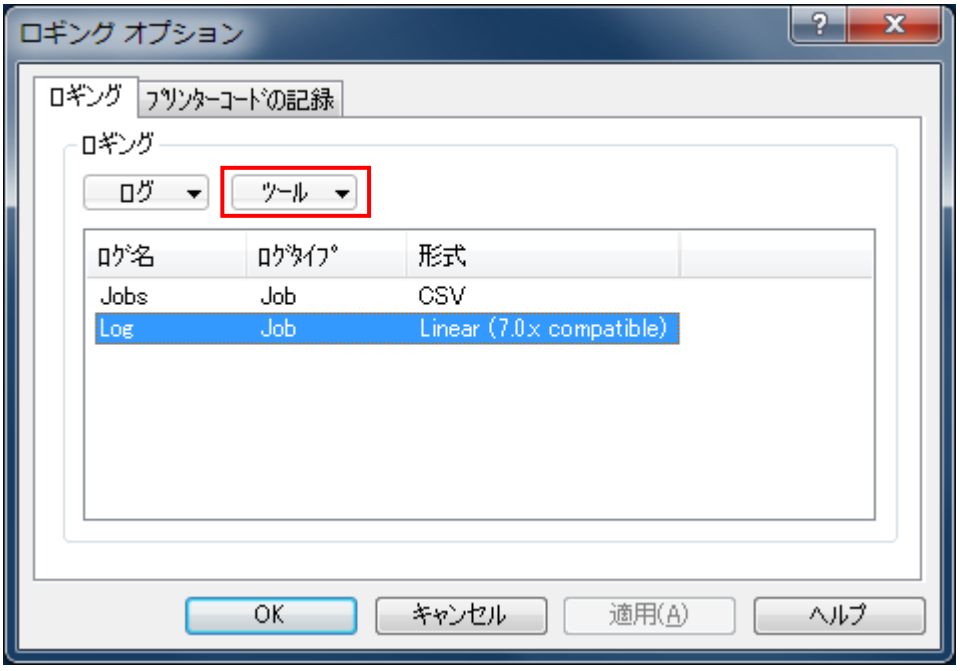
※ 詳細ログの内容

	A	B	C	D	E	F
1	StartTime	EndTime	PrinterName	UserName	ClientName	JobName
2	07/15/09 19:13:25	07/15/09 19:13:25	Citizen CL-S700J	*****	¥¥******	Printer Test

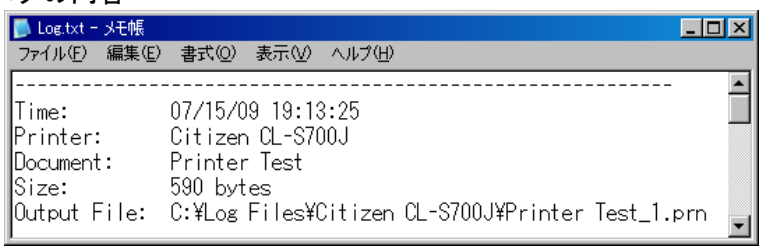
■ ツール

テキスト形式にて簡易ログを作成します。

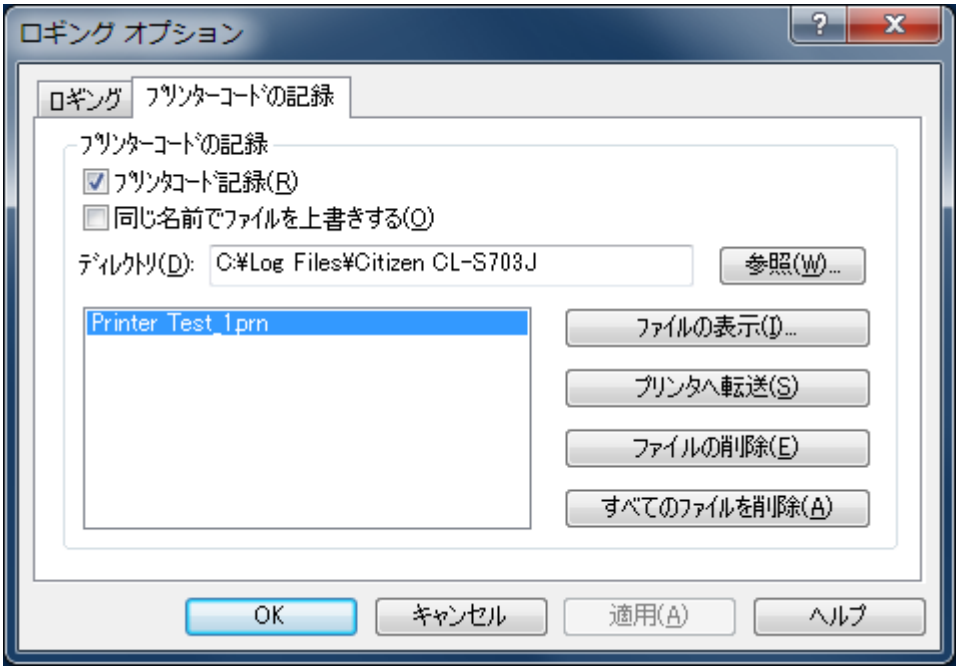
「ツール」→「レガシーログを追加」より、ログのファイル名を指定して下さい。



※ 簡易ログの内容



＜プリンタコードの記録＞
バイナリー形式にて出力データの記録を行ないます。
「プリンタコード記録(R)」にチェックを入れ、出力データファイルの保存場所「ディレクトリ(D)」を指定の上、「適用(A)」ボタンを押下します。



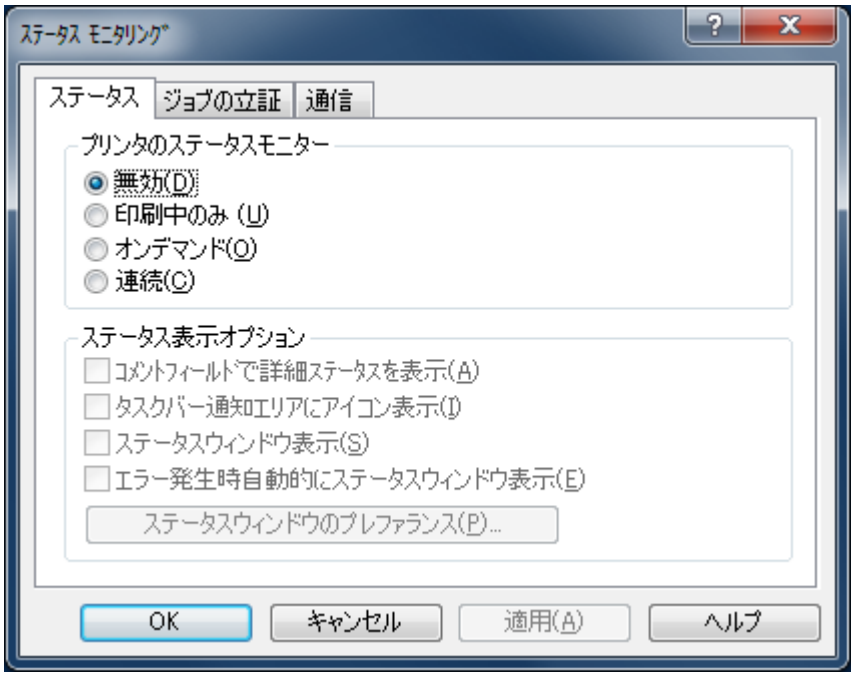
※出力データの内容

	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F	0123456789ABCDEF
000000	02	1B	47	30	0D	0A	02	6E-	0D	0A	02	4D	31	35	30	30	..G0...n...M1500
000010	0D	0A	02	4F	30	32	31	34-	0D	0A	02	56	30	0D	0A	02	...O0214...V0...
000020	1B	74	31	0D	0A	02	4B	66-	30	30	37	30	0D	0A	02	53	.t1...Kf0070...S
000030	4D	0D	0A	02	4C	0D	0A	44-	31	31	0D	0A	50	4D	0D	0A	M...L..D11..PM..
000040	70	4D	0D	0A	53	4D	0D	0A-	41	32	0D	0A	31	58	31	31	pM..SM..A2..1X11
000050	30	30	30	30	36	30	30	30-	30	30	30	4C	32	30	30	30	00006000000L2000
000060	30	31	0D	0A	31	58	31	31-	30	30	30	30	35	30	31	30	01..1X1100005010
000070	32	30	30	4C	30	30	31	31-	30	30	0D	0A	31	58	31	31	200L001100..1X11
000080	30	30	30	30	35	30	30	30-	30	30	30	4C	32	30	30	30	00005000000L2000
000090	30	31	0D	0A	31	58	31	31-	30	30	30	30	35	30	31	30	01..1X1100005010
0000A0	30	30	30	4C	30	30	31	31-	30	30	0D	0A	31	58	31	31	000L001100..1X11
0000B0	30	30	30	30	35	39	37	30-	30	30	33	4C	31	39	34	30	00005970003L1940
0000C0	30	31	0D	0A	31	58	31	31-	30	30	30	30	35	30	34	30	01..1X1100005040
0000D0	31	39	37	4C	30	30	31	30-	39	34	0D	0A	31	58	31	31	197L001094..1X11
0000E0	30	30	30	30	35	30	33	30-	30	30	33	4C	31	39	34	30	00005030003L1940
0000F0	30	31	0D	0A	31	58	31	31-	30	30	30	30	35	30	34	30	01..1X1100005040
000100	30	30	33	4C	30	30	31	30-	39	34	0D	0A	31	58	31	31	003L001094..1X11
000110	30	30	30	30	35	37	35	30-	30	31	30	4C	30	34	30	30	00005750010L0400
000120	30	35	0D	0A	31	58	31	31-	30	30	30	30	35	32	31	30	05..1X1100005210
000130	30	32	38	4C	30	30	35	30-	36	30	0D	0A	31	58	31	31	028L005060..1X11
000140	30	30	30	30	35	37	35	30-	30	36	30	4C	30	33	35	30	00005750060L0350
000150	30	35	0D	0A	31	58	31	31-	30	30	30	30	35	34	38	30	05..1X1100005480
000160	30	36	30	4C	30	33	30	30-	30	35	0D	0A	31	58	31	31	060L030005..1X11
000170	30	30	30	30	35	32	31	30-	30	36	30	4C	30	33	35	30	00005210060L0350
000180	30	35	0D	0A	31	58	31	31-	30	30	30	30	35	32	31	30	05..1X1100005210
000190	30	36	31	4C	30	30	35	30-	36	30	0D	0A	31	58	31	31	061L005060..1X11
0001A0	30	30	30	30	35	37	35	30-	31	30	35	4C	30	33	35	30	00005750105L0350
0001B0	30	35	0D	0A	31	58	31	31-	30	30	30	30	35	34	38	30	05..1X1100005480
0001C0	31	30	35	4C	30	33	35	30-	30	35	0D	0A	31	58	31	31	105L035005..1X11
0001D0	30	30	30	30	35	32	31	30-	31	30	35	4C	30	33	35	30	00005210105L0350
0001E0	30	35	0D	0A	31	58	31	31-	30	30	30	30	35	34	38	30	05..1X1100005480
0001F0	31	30	35	4C	30	30	35	30-	33	33	0D	0A	31	58	31	31	105L005033..1X11
000200	30	30	30	30	35	32	31	30-	31	33	35	4C	30	30	35	30	00005210135L0050
000210	33	33	0D	0A	31	58	31	31-	30	30	30	30	35	37	35	30	33..1X1100005750
000220	31	35	30	4C	30	34	30	30-	30	35	0D	0A	31	58	31	31	150L040005..1X11
000230	30	30	30	30	35	32	31	30-	31	36	38	4C	30	30	35	30	00005210168L0050
000240	36	30	0D	0A	51	30	30	30-	31	0D	0A	45	0D	0A			60..Q0001..E..

本ファイルを開くには、バイナリエディタ等をご使用下さい。

③ ステータスモニタリング(S)

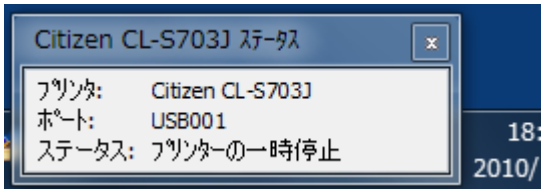
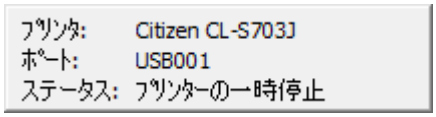
プリンタの状態を監視する際に設定します。



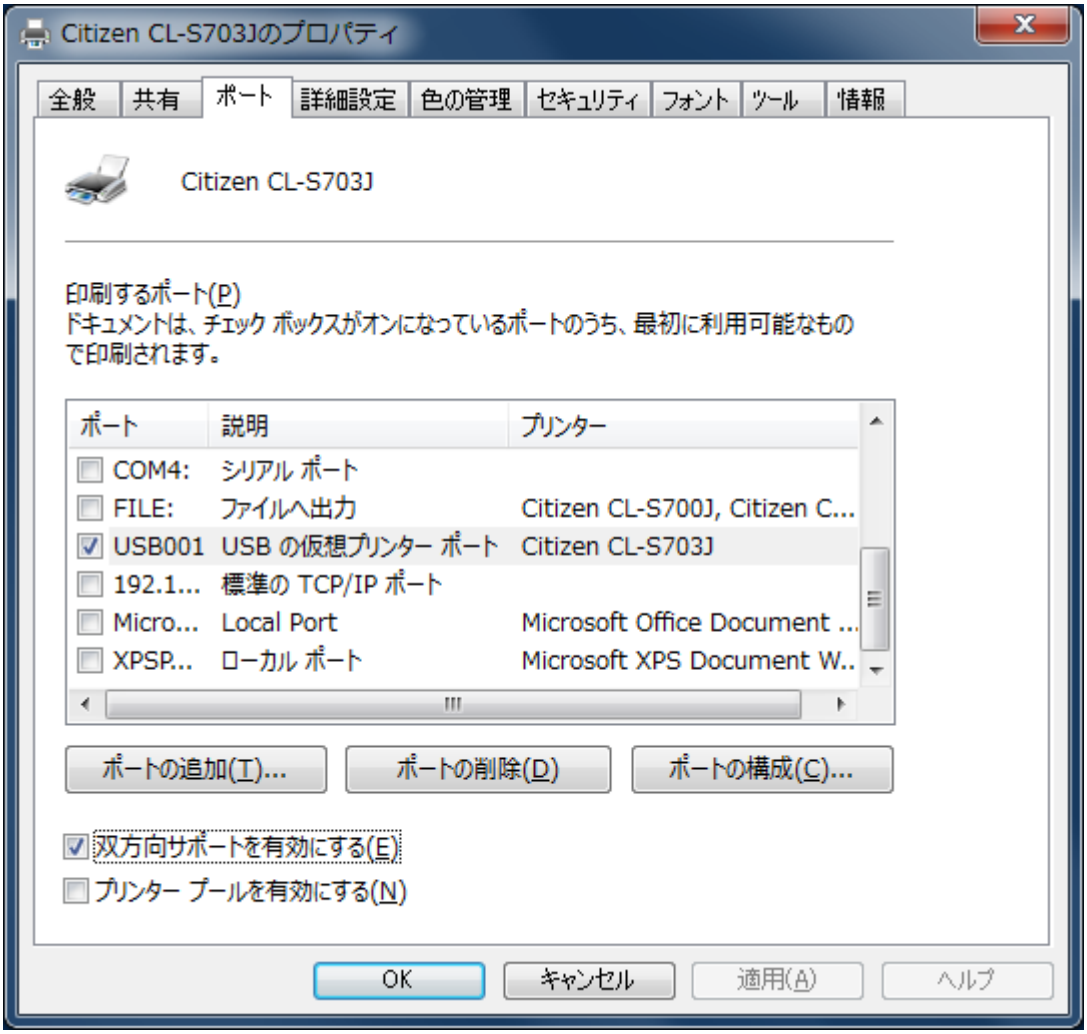
■ プリンタのステータスモニター

選択項目	動作
無効(D)	プリンタの状態監視を無効にします（デフォルト）
印刷中のみ(U)	印刷中のみプリンタの状態を監視します
オンデマンド(O)	ステータスウィンドや通知アイコンなどのクライアントアプリケーションが起動している時のみプリンタの状態を監視します
連続(C)	常にプリンタの状態を監視します

■ ステータス表示オプション

選択項目	表示
コメントフィールドで詳細ステータスを表示(A)	
タスクバー通知エリアにアイコン表示(I)	
ステータスウィンドウ表示(S)	
エラー発生時自動的にステータスウィンドウ表示(E)	
ステータスウィンドウのプレファランス(P)	常に先頭(A) 選択時  タイトルバーを隠す(H) 選択時 

尚、本機能を使用する際は、ドライバプロパティの「ポート」タブより、[双方向サポートを有効にする(E)]にチェックを入れて下さい。



７．アプリケーションからの印刷

７－１．プリンタフォントリスト

使用可能なプリンタフォントおよびそのプリンタフォントに対するフォントサイズは下表の通りです。

203DPI モデル

ドライバ名	フォント名	フォントサイズ
Citizen CL-S400DTJ Citizen CL-S400DTIIJ Citizen CL-S520 Citizen CL-S520II Citizen CL-S620 Citizen CL-S620II Citizen CL-S700J Citizen CL-S700IIJ Citizen CL-S700IIIJ Citizen CL-E720J Citizen CL-E300J Citizen CL-E321J	Citizen CG Triumvirate	6/8/10/12/14/18/24/30/36/48/59.5/72/96.5/144
	Citizen CG Triumvirate (Cond.)	12/16.5/20/24/27.5/36/48/59.5/71.5/96.5/144
	Citizen CG Triumvirate (Exp.)	6/8/10/12/14/18/24/30/36/48/59.5/72
	Citizen Font 0	2.5/5/7.5/10/12.5
	Citizen Font 0 (Cond.)	5/10/15/20
	Citizen Font 0 (Exp.)	2.5/5/7.5
	Citizen Font 1	4.5/9/14/18.5/23
	Citizen Font 1 (Cond.)	9/18.5/27.5/37
	Citizen Font 1 (Exp.)	4.5/9/14
	Citizen Font 2	6.5/13/19/25.5/32
	Citizen Font 2 (Cond.)	13/25.5/38.5/51
	Citizen Font 2 (Exp.)	6.5/13/19
	Citizen Font 3	9.5/19/28.5/38.5/48
	Citizen Font 3 (Cond.)	19/38.5/57.5/76.5
	Citizen Font 3 (Exp.)	9.5/19/28.5
	Citizen Font 4	13/25.5/38.5/51/64
	Citizen Font 4 (Cond.)	25.5/51/76.5/102
	Citizen Font 4 (Exp.)	13/25.5/38.5
	Citizen Font 5	18.5/37/55.5/74/92
	Citizen Font 5 (Cond.)	37/74/110.5/147.5
	Citizen Font 5 (Exp.)	18.5/37/55.5
	Citizen Font 6	22.5/45.5/68/91/113.5
	Citizen Font 6 (Cond.)	45.5/91/136/181.5
	Citizen Font 6 (Exp.)	22.5/45.5/68
	Citizen Kanji	5.5/8.5/11.5/17/22.5/34/51/68/85

300DPI モデル

ドライバ名	フォント名	フォントサイズ
Citizen CL-S403DTIIJ Citizen CL-S530 Citizen CL-S530II Citizen CL-S630 Citizen CL-S630II Citizen CL-S703J Citizen CL-S703IIJ Citizen CL-S703IIIJ Citizen CL-E730J Citizen CLP-8300 Citizen CL-E303J Citizen CL-E331J	Citizen CG Triumvirate	6/8/10/12/14/18/24/30/36/48/59.5/72/96.5/144
	Citizen CG Triumvirate (Cond.)	12/16.5/20/24/27.5/36/48/59.5/71.5/96.5/144
	Citizen CG Triumvirate (Exp.)	6/8/10/12/14/18/24/30/36/48/59.5/72
	Citizen Font 0	2.5/5/7/9.5/12
	Citizen Font 0 (Cond.)	5/9.5/14.5/19
	Citizen Font 0 (Exp.)	2.5/5/7
	Citizen Font 1	4.5/9/13.5/18/23
	Citizen Font 1 (Cond.)	9/18/27.5/36.5
	Citizen Font 1 (Exp.)	4.5/9/13.5
	Citizen Font 2	6.5/13/19.5/26/32.5
	Citizen Font 2 (Cond.)	13/26/39/52
	Citizen Font 2 (Exp.)	6.5/13/19.5
	Citizen Font 3	9.5/19/29/38.5/48
	Citizen Font 3 (Cond.)	19/38.5/57.5/77
	Citizen Font 3 (Exp.)	9.5/19/29
	Citizen Font 4	14.5/29/43/57.5/72
	Citizen Font 4 (Cond.)	29/57.5/86.5/115
	Citizen Font 4 (Exp.)	14.5/29/43
	Citizen Font 5	18.5/37/55.5/74/92.5
	Citizen Font 5 (Cond.)	37/74/111/148
	Citizen Font 5 (Exp.)	18.5/37/55.5
	Citizen Font 6	23/45.5/68.5/91/114
	Citizen Font 6 (Cond.)	45.5/91/137/182.5
	Citizen Font 6 (Exp.)	23/45.5/68.5
	Citizen Kanji	6/7.5/11.5/15.5/23/34.5/46/57.5

７－２．プリンタバーコードフォントリスト

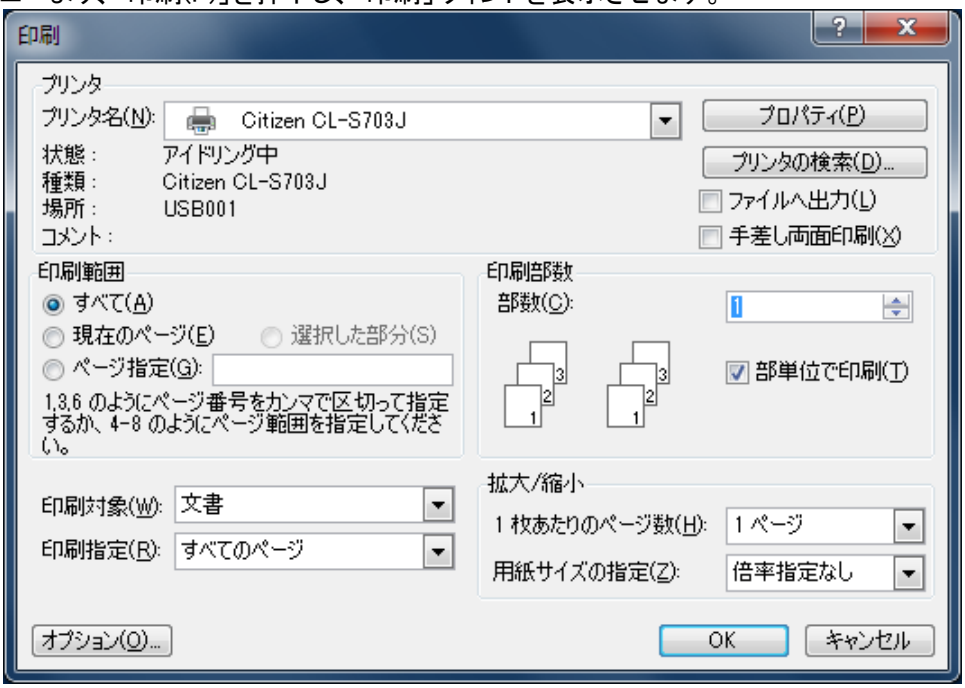
使用可能なプリンタバーコード種およびそのプリンタバーコードフォントに対するフォントサイズは下表の通りです。

バーコード種	フォントサイズ
Aztec Code	8/9/10/11/12/14/16/18/20/22/24/26/28/36/48/72
Code 39 - Full ASCII	
Code 39 - Regular	
Code 93	
Code 128	
Codabar	
Composite (EAN,UCC)	
DataMatrix	
EAN/JAN-8	
EAN/JA-13	
EAN/JAN/UPC 2-digit Supplemental	
EAN/JAN/UPC 5-digit Supplemental	
Interleaved 2-of-5(ITF)	
GS1 Composite	
GS1 DataBar(RSS)	
MaxiCode	
PDF417	
QR CODE	
Telepen	
UPC-A	
UPC-E	

７－３． Microsoft Word からの印刷

以下は、Microsoft Word 2003 使用しての印刷例です。

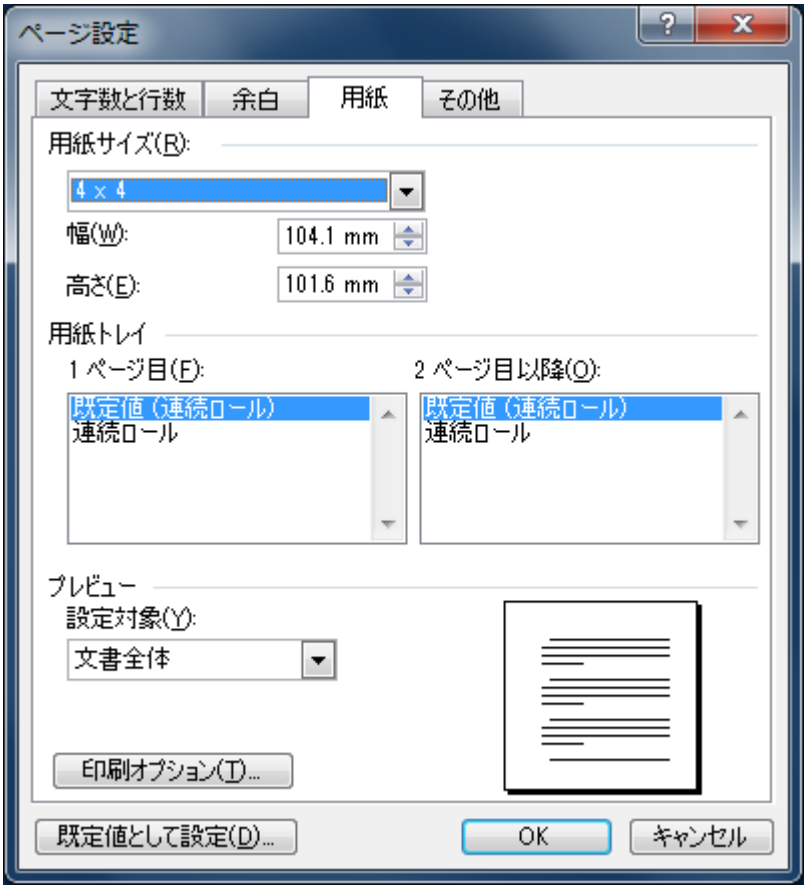
1. ファイルメニューより、「印刷(P)」を押下し、「印刷」ウィンドを表示させます。



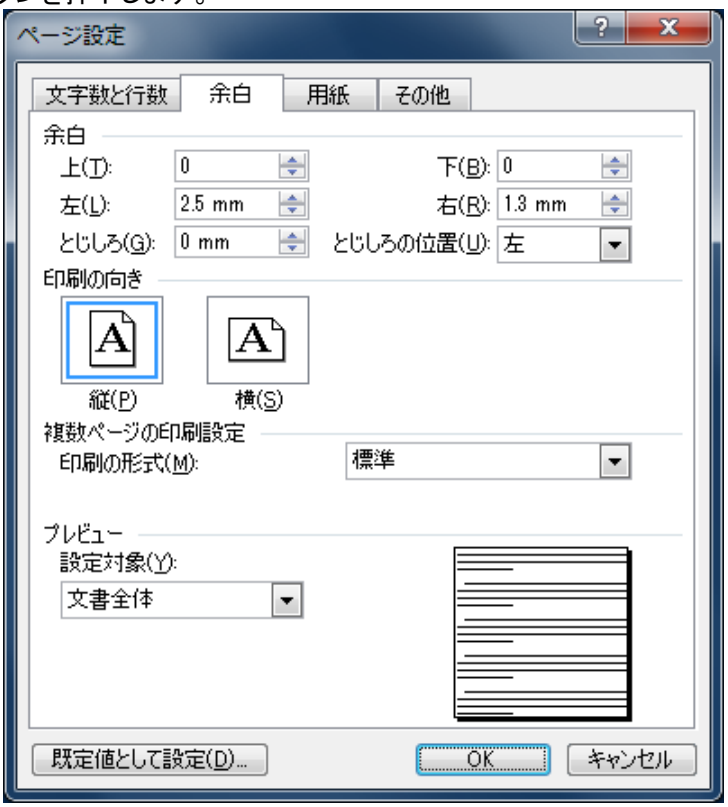
2. 「プリンタ」項目内の「プリンタ名(N)」より、プリンタを選択し、「閉じる」ボタンを押下します。

3. ファイルメニューより、「ページ設定(U)」を押下し、「ページ設定」ウィンドを表示させます。

4. 「用紙タブ」を押下し、「用紙サイズ(R)」より用紙サイズを指定します。



5. 「余白」タブを押下し、各余白を設定します。
※ 余白を0にすると、“余白が印刷できない領域に設定されています”というメッセージ表示されます。「修正」ボタンを押下すると自動で最小の余白に設定されます。
上記設定後、「OK」ボタンを押下します。



6. フォントリストより、「7－1. プリンタフォントリスト」を参考にプリンタフォントを選択し、文書に任意のテキストを入力します。

7. フォントサイズリストより、「7－2. プリンタバーコードフォントリスト」を参考にフォントサイズを選択し、文書に任意のテキストを入力します。

8. ファイルメニューより、「印刷(P)」を押下し、「印刷」ウィンドを表示させます。「OK」ボタンを押下すると印刷が開始します。

